

地方史情報

114

2013年4月

戦国期山内上杉氏の研究

黒田 基 樹

本書は、戦国期の山内上杉氏について、ここ数年の間に発表してきた論考を中心にまとめたものである。山内上杉氏は、いうまでもなく、室町期においては関東管領、さらに上野・伊豆・武蔵三ヶ国守護を務めたように、鎌倉府体制における中核的な存在であった。したがって同氏に関する研究は、これまでは当然のことながら、その室町期が中心になっている。しかし本書で取り上げるのは、同氏の全盛期となる室町期ではなく、これまでににおいては衰退期としてとらえられてきた戦国期における動向である。私が戦国期の山内上杉氏に注目するのは、以下の理由からである。

一つには、山内上杉氏は、戦国期に入っても100年にわたって、関東における中心的な政治勢力として存在しており、室町期から戦国期にわたる関東政治史解明のためには、その動向の追究が不可欠にあたっていること。二つには、室町期において体制の中核にあった存在が、戦国期の展開のなかで、いかにその権力的性格を転換させていったのか、その展開過程を明らかにすること。三つには、戦国期的な権力として措定される領域権力（戦国大名・国衆）の形成、展開の過程について、これまで以上に具体的な追究を図るにあたって、一つの有力な素材となるであろうこと、といった点にある。これらの問題関心は総じて、室町期武家権力の在り方と、戦国期の武家権力の在り方の異同とその展開過程の解明にあたるものとなる。（中略）

同氏の追究にあたっては、それら基礎的研究の充実を図る必要があり、本書はその第一弾として、それら基礎的領域の解明に主眼を置いた。具体的には、第一部として、戦国山内上杉氏の政治動向に関して解明を図る五編の論考と付論一編を配置した。第二部として、山内上杉氏の宿老長尾氏の動向について追究する論考二編を配置した。そして第三部として、山内上杉氏の従属下にあった国衆の動向について追究する五編の論考と付論一編を配置した。そして巻末には付録として、享徳の乱（1455～82）以降、最後の当主にあたる憲政までの、当主の発給・受給文書169点、家宰を始めとした家臣の奉書・副状など参考文書49点の、計218点を集成した「戦国期山内上杉氏文書集」を収めた。

（黒田基樹『戦国期山内上杉氏の研究』2013.2、小社刊、「はしがき」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11

TEL011-761-8014 1985年創刊

◇52 2012.10 B5 80p 1000円

巻頭言 記憶の中の戦跡 後藤 良二

琴似屯田兵の末裔は歴史の迷宮の

案内人 サッポロ堂書店・店主

石原誠さん

梶田 博昭

篠津屯田兵村について

工藤 英一

屯田兵ゆかりの方・郷土史家の皆

さんへ

一節抜粋 若林滋著『流刑地哭く

―クリスチャン典獄と白虎隊看守長―、北国諒星著『開拓使

にいた！龍馬の同志と元新選組

隊士たち』

旧庄内藩士と北海道における桑園

開拓の秘話

奥田 静夫

屯田兵交友財産をめぐって(10)

士別村に置かれた輪西屯田兵村

部会

河野 民雄

表紙から 屯田兵日露戦役従軍記

絵図 日露戦争の浮世絵木版画

(ボストン美術館所蔵)

東西南北

古地図の散歩道 明治6年作成「北

海道石狩州札幌地形見取図」

北海道石狩州札幌地形見取図

アートな超時空マップ

梶田 博昭

講演録 北海道屯田倶楽部第1回

公開セミナー 郷土に学ぶ一学

ぶ子孫会を目指して 講師：永

峰貴さん

レジュメより

奨励作物に見る琴似の農業

屯田兵のデザイン考 新琴似屯田

兵中隊本部の鬼瓦 一本角に和

魂洋才を見た

永山武四郎將軍の腹心 柗内元吉

―北海道開拓史に残した足跡を

たどる

中神 哲二

図説北海道屯田兵制度(2)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111

www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇334 2012.11 B4 4p

道文化財保護功労賞の受賞者が決

定 個人 本野里志・石川博継

／団体 三菱大夕張鉄道保存会

「北海道文化賞」等受賞者決定／

役員会の開催について

文化財講演会(抄録)

夷酋列像の歴史的背景

川上 淳

北のアルプス美術館

串田孫一の仕事部屋

舟山 廣治

“見て感じ 心にきざむ 文化財”

第5回「北海道文化財保護強調

月間」始まる

世界文化遺産への登録をめざして

(11) 平成24年度国際的合意形

成事業から 北海道教育庁生涯学習推

進局文化・スポーツ課

私と文化財 南部忠平の業績を伝

える展示室

積丹文化財めぐりに参加して 片山 慶子

子どもの文化財愛護活動推進事業

北の鉄路遺産巡り

金田 卓浩

文化財を守る

猿留(さるる)山道の整備

中岡 利泰

読者の声 雨竜町農業資料室がオープン雨竜

町教育委員会

読者の声

地域の文化を後世に伝えるため

に―厚岸町指定無形文化財

「厚岸かぐら」の取り組み 車塚 洋

釧路市立博物館企画展「東奔西

走僕らの発掘物語―市内高校

郷土史研究部の軌跡―」のご

案内

石川 朗

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34

岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊

◇252 2012.11 A4 8p

民俗芸能を支える道具 神楽の獅

子頭「権現様＝ごんげん様」

復興と文化振興

八重樫 勝

震災後の文化振興事業

―復興支援を中心に

池田 克典

文化振興、文化財保護伝承を振り

返って

船越 昭治

新たな景観の創造へ

熊谷 常正

魂に操られたこの一年

佐々木 隆

青少年フェス 盛会に終わる 沿

岸から三団体が出演 盛岡・都

南キャラホール

続平泉志(16) 衣川

及川 和哉

十月の郷土史学習会 旧街道の史

跡を見聞 盛岡市内で現地研修

／古文書講座 読み下し文の作

成へ／江刺で笛の技術講座／民

俗芸能復興フォーラム／大矢理

事に日報文化賞

◆市史せんだい 仙台市博物館

〒980-0862仙台市青葉区川内26

TEL022-225-3074 1992年創刊

www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◇22 2012.11 A5 130p

表紙写真解説「東日本大震災1年

資料レスキュー展」 栗原伸一郎

特集 東日本大震災と地域史の再

発見

報告 レスキュー資料の紹介

市史編さん室

研究ノート

文献史料からみた貞観地震に

関する一考察

二上 玲子

仙台市立中野小学校所蔵スズ

円盤標本の修復と年輪年代

学的解析

大山 幹成

震災がよみがえらせた古地形

清水川 伸

論文 中在家南遺跡出土の高坏

須藤 隆

資料紹介 内務省時代の仙台市一

般会計臨時部の経費動向

越智 洋三

史料紹介

藩審録―樂山公御遺稿から

相原 陽三

伊達政宗文書・補遺(6)

普及活動報告／部会活動報告／市

史編さん室日誌抄／市史編さん

室年次計画

◆道鏡を守る会 道鏡禅師を知ろう

道鏡を守る会

〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35

本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊

◇34 2012.10 B5 68p 1000円
道鏡禪師関連略年表／道鏡を守る
会の略史(敬称略)
おたより(敬称略)
2011年10月1日 道鏡勉強会
11月発行会誌33号を受け取り
小勉強会(1/21)
守る会に提案、会員訃報に接し
追悼 退壤の天界で星となった二
人の感 船生 史郎
ご遺族様の挨拶状などから
偲び草 志田 美代
感謝の思いを胸に 神保 正枝
お二人に感謝しながら 本田 義幾
2012年4月7日 道鏡禪師供養祭
奈良方面探訪旅行(6/19～21)
奈良探訪旅行 片岡 秀雄
旅行余話／旅行参加者の感想など
／簡単しおり／参考資料
玄昉さん 阪井 昇道
小勉強会(7/14)
論考の部
寛大な仏教がもたらすもの 川島 恂二
勉強会資料補正 称徳天皇後の皇
位継承と道鏡事件―諸説を参考
にしながら 高橋 昭夫
最近気付いたこと 田中 弘善
日光道中略記より
道鏡禪師の足跡を尋ねて 藤貫 玲子
追悼(2)
本号校正中訃報が入りました 本田 義幾
道鏡問題が示唆する現代的課題 本田 義幾
宇都宮市石那田・顕正板設置後日
譚 船生 史郎
貴誌に期待 田中 龍夫
「道鏡顕正基金」を設立してP Rへ
安永 明子
道鏡様申し上げます

一思い付くままに 小尾サダヨ
一つの言葉に意味あり
一盲妹を例に 渡辺 力栄
『続日本紀』から道鏡氏をみるた
めに 鈴木 暁子
市川に道鏡禪師をもとめ歩いて 新山 智雄
女帝と道鏡一男・女の仲の真相に
ついて 船生 史郎
『続日本紀』にみる称徳天皇と道
鏡禪師の使命観について 森本 裕之
義江明子著『県犬養橘三千代』(吉
川弘文館)から学ぶ 久佐野 昭
あとがき／道鏡を守る会会員・友
好団体名簿／道鏡を守る会会則
◇別冊9 2012.9 A4 4p
《3・11ココ新生へ》
宮戸島で／おたよりなどから／チ
リ、日本海中部地震津波、神戸
地震体験者は？／おたよりから
◇別冊10 2012.10 A4 4p
《3・11ココ新生へ》
網地島、田代島(被災地の有人島
は宮城のみ)／原発・放射能は？
／牡鹿半島と網地島(つづき)／
提言 増田博之様(栃木県)／外
国人の思い(倶楽部MIA 11.8)
◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90 工藤
一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇50 2012.9 B5 30p
特集 春の歴史フォーラム
歴史遺産と地域おこし
後三年合戦研究と地域おこし 島田 祐悦
通年型観光に向けた横手の取り
組み 讃岐 祐樹

松尾芭蕉が訪れた象潟とまちお
こし 齋藤 一樹
フォーラムを終えて 佐々木久吾
用語解説 林業に関する用語 半田 和彦
歴史情報
秋田歴研協理事鈴木達郎氏を悼
む 田口勝一郎
後三年合戦後の横手平野 塩谷 順耳
首都圏秋田歴史と文化の会
第10回記念大会 神宮 滋
選挙研究と私 伊藤 寛崇
自著紹介『伊藤直純 書窓の夢
一明治二十年に夢見た「秋田
の近未来」』 加藤慎一郎
新刊紹介 戸田金一著『国民学
校物語』の概要 越中 正一
文献情報／催しもの情報／事務局
だより
◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会
〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2
河田正治方 TEL0186-62-0242
年2000円 1977年創刊
◇68 2012.11 A4 59p 1000円
表紙 藤原愛(1911～1990)
長崎御用銅廻船と四国の金比羅宮
一米代川流域との繋がりについ
て 木村 清幸
史、資料を読む 永井 高道
地方史の手帳 陣馬岱縦断の古代
小森川一魚の週上に栄えた縄文
時代 小塚 嘉七
総会講演会 般若院英泉の足跡を
読む 講師：長谷部八朗氏 永井 高道
歴史教室
鷹巣・阿仁地域の馬産について
一明治期のセリ場を中心に 庄司 博信
阿仁鉾山と地域の交流 戸嶋 喬

現地研修
懐かしい故郷の思い出 高田 梅子
綴子街巡りと羽州街道 澤田 昌治
随 想
藤原愛さんを偲んで―「ガキ大
将」と自称していた愛 中嶋 喜代
藤原愛会長さんを偲んで 小野 裕子
藤原愛様を偲んで 佐藤 フサ
ひろば
市日通りと家並みの変移 佐藤 國治
鷹巣市日考 桜田 俊
特別寄稿 太田新田村の歴史と
太田ぜき 小林 千寛
◆置賜文化 置賜史談会
〒992-0055山形県米沢市御廟1-5-30
上杉家管理事務所内 TEL0238-23-3115
1952年創刊
◇111 2012.10 B5 44p
米沢藩知事の東京移住阻止運動 須崎 寛二
近世後期置賜地方における飯豊
仰の組織化 原 淳一郎
庄内新道(朝日軍道)に関する史料
と課題 原 敬一
平成22年度福島地内研修視察記 木村 喜雄
総会資料
◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇191 2012.10 B5 10p
器械製糸業の先覚者 多勢長兵衛
と多勢亀五郎 補遺 須崎 寛二
宮内の「御足輕町屋敷」の一史料 須崎 寛二
赤湯・山のえ医者佐藤家の周辺 須崎 寛二
鍋田念仏おどりと置賜産十三観音
―第213回学習会から

◆**山形民俗** 山形県民俗研究協議会
〒990-0826山形市霞城町1-8 山形県立博物館 秋葉正任気付 1987年創刊
◇26 2012.11 A5 113p 900円
遠隔地帯の民俗の一致の不思議 大友 義助
最上観音霊場の札所観音成立期を
探る一中世末・近世初頭の落書
から 野口 一雄
慈恩寺舞楽と雨乞いの考察―芸能
文化と地域とのかかわり 菊地 和博
絵馬奉納と観音巡礼
―黒鳥観音堂の事例を中心に 小田島建己
巨石に導かれる王祇神の世界―香
取・鹿島・弥彦の神々と「城の
山古墳」 大江 良松
羽黒山山頂にぬま小屋復元 渡辺 幸任
暮らしのなかの太陽信仰―結界 清野 春樹
「鮭の大助」と王権 村田 弘
東北地方における炭焼き藤太・金
売り吉次の伝説 菊地 仁
置賜地域の記録された地震 渡邊 敏和
県内の主な民俗関係出版物
山形県民俗研究協議会関連記事

◆**米沢史学** 米沢史学会
〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1
山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
TEL0238-22-7330
◇28 2012.10 B5 144p
庄内における育英事業と地域社会
―青年の上京遊学の実態と彼ら
の育英観・庄内観を視点として
布施 賢治
宮城県白石市蔵元字管堀の近世窯
業の研究―白石焼瓦焼場窯跡の
表採資料から 高橋 拓
近江国河上荘の宮座と村落神話 藺部 寿樹
研究ノート 岡本太郎「四次元と

の対話 縄文土器論」について
の一考察 志賀 祐紀
新刊紹介 木本好信著『奈良時代の
政争と皇位継承』 吉田 敏
2011年度卒業研究要旨／受贈図書
一覧／2012年度開講科目一覧

◆**福島県史料情報**
福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history-archives.fks.ed.jp
◇34 2012.10 A4 4p
『磐前縣治一覧概表』について
磐前県管内略図(『磐前縣治一覧
概表』部分、個人蔵) 渡邊 智裕
福島県に献納されていた小口信明
の磐梯山噴火写真 渡邊 智裕
古社寺調掲載の住吉神社 山内 幹夫
「いいたての歴史と風土」展開催
のいきさつ 本間 宏
「いいたての歴史と風土」展示資
料紹介 馬代廿分一團帳／養育
料帳／御固メ処控帳 小野孝太郎

関 東

◆**茨城の民俗** 茨城民俗学会
〒310-0036茨城県水戸市新莊2-8-16
今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円
1963年創刊 www.minzokunet
◇51 2012.11 B5 68p
《特集 飲料と容器》
日本酒生活 松崎健一郎
飲料と容器―湧水からコーラまで
今瀬 文也
日立市蚕養神社の養蚕信仰 近江 礼子
茨城県北部にみる鳥追い形態 大森 政美
水戸様と浜降り祭 河野 弘

城里町民俗資料館資料調査につい
て 飯村 保
会のあゆみ

◆**近代史料研究** 日本近代史研究会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内
TEL029-853-4066 2001年創刊
◇12 2012.10 A5 83p
公文書管理制度と近現代史学―政
治史の対象と方法についての一
考察 下重 直樹
拓務省研究の現状と課題―植民地
・外地行政監督官庁の評価をめ
ぐって 熊本 史雄
「誌友交際」論序説―高山樗牛・
姉崎嘲風の高等学校時代をめ
ぐって 長尾 宗典
「鈴木虎雄関係史料(長善館鈴木家
旧蔵分)の整理報告
鈴木虎雄発信書簡の整理とその
概要 田中友香理
勉学・自立・鬱悶―鈴木虎雄家
郷宛書簡の世界 中野目 徹

◆**水戸史学** 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇77 2012.11 A5 90p
水戸義公の『大日本史』と蒲生君
平の『山陵志』 阿部 邦男
『大日本史』巻二二九における
『平治物語』 梶山 孝夫
藤田東湖の震死直後に臨場した加
藤木賞三(峻叟)の救命活動 但野 正弘
『大日本史』舒明・皇極天皇本紀の
基礎的研究 堀井 純二
義公の足跡を訪ねて(24) 住谷 光一

湊川神社と水戸との所縁 岡村 光浩
会 報 但野 正弘

◆**歴文だより** 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇85 2012.10 A4 4p
北原糸子氏講演「関東大震災―被
害者の行方」を聞いて 岸 明
心の歴史に学ぶ
―宮田報告を聞いて 木村 康夫
上野報告「栃木県の遺跡における
大洪水の痕跡について」を聞き
て 鐺木 理広
新井報告「室町期日光山と自然災
害」を聞いて 佐々木 茂
平野報告「天和地震・五十里水と
五十里村」を聞いて 飯塚 真史
古文書・古典籍を読む(19)
石田三成書状 月井 剛

◆**ぐんま地域文化**
群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊
◇39 2012.11 AB 36p
《旧前橋市地域特集》
歴史を掘る 公田東遺跡出土の鶏
形土製品―古墳時代前期の墓と
鶏 大西 雅広
地の利を生かす 曾我 孝之
発掘情報
まほろしの上野国府を掘る 前原 豊
図録 ぐんまの文化財 前橋市の
文化財―合併で広がる前橋の歴
史と文化 小島 純一

ぐんまの歴史入門講座
 第135講 前橋台地は「ケノクニ」
 の“まほら”―前橋台地の開発
 と朝倉八幡山古墳 梅澤 重昭
 第136講 「厩橋」と大胡郷 須藤 聡
 第137講 佐渡奉行街道と往来す
 る旅人 岡田 昭二
 第138講 明治期の前橋製糸業 宮崎 俊弥
 第139講 旧前橋市の石造文化財
 石造物の見方(28) 秋池 武
 古文書解説入門講座(26)―古文書
 から歴史を読む 前橋松平藩日
 記から読む赤穂義士親族の処置
 駒形 義夫
 地域づくりと文化遺産 地名とい
 う文化遺産 上野国国府と元総
 社、大友のこと 城田 博巳
 ぐんまのくらしと民俗 国字が表
 現すること―『漢和辞典』に載
 りました 井田 安雄
 ぐんまの地方豪族 厩橋長野氏 久保田順一
 ぐんまの川と生活
 前橋城の命綱・風呂川 澤口 宏
 ぐんまの人物誌 楫取素彦 石田 和男
 ぐんまの郷土芸能 二宮赤城神社
 に伝わる郷土芸能 井野 誠一
 ぐんまの地名 前橋の連雀町 小池 照一
 研究・学習サークル活動紹介
 前橋・カケス会のこと 井田 安雄
 出版情報 『群馬歴史散歩』と書籍
 ぐんまの自然と風土 橘山 片山 満秋
 ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
 年4000円 1957年創刊
 members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/
 ◇312 2012.10 A5 80p

江戸時代初期の代官
 中野七蔵重吉 徳江 康
 江原源左衛門と元禄期の滝村 和田 健一
 放光寺(山王廃寺)と秋間古窯跡 栗原 和彦
 動向 群馬県教育史研究懇談会の
 軌跡 森田 秀策
 文化財レポート
 国指定史跡 田島弥平旧宅 和久 美緒
 書評 由谷裕哉編著『郷土再考―
 新たな郷土研究を目指して』 山本 世紀
 新刊紹介
 宮崎俊弥著『近代群馬のキリス
 ト教教育』 森田 秀策
 館林市史編さん委員会編『館林
 の民俗世界』(館林市史特別
 編第5巻) 伊藤 克枝
 山口幸男編著『地理教育・社会
 科教育の理論と実践』 町田 悟
 消 息
 口絵 六曲屏風「三典歌(作間久
 吉作)」―群馬県立歴史博物館蔵
 品資料(113) 手島 仁
 ◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
 TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
 ◇311 (59-3) 2012.10 A5 54p
 慈光寺の銅鐘は歩渉調なり 山口 正義
 足立郡式内足立神社考 森田 悌
 川口市・源長寺「伊奈家過去帳」
 の一考察 赤石 光資
 続・近世武蔵国里修験十玉院 高橋 一
 武州秩父雑話(11)―伊勢平氏の系
 譜・秩父大野原大野氏 大墅 鴻風
 『福川改修と唐澤問題の経過』
 ―安部彦平氏資料より 荻野 勝正
 資料紹介
 文政六年将軍日光社参延期 佐藤 繁

表紙写真解説 寛文九年板碑型庚
 申塔(日高市高荻神明神社)
 口絵写真解説
 鴻巣市・龍昌寺の板碑群
 催事案内
 川越市制施行90周年記念特別展
 受贈図書紹介／新刊紹介
 第635回 板倉町見学
 第636回 研究発表会
 ◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
 年3000円 1975年創刊
 ◇66 2012.11 A5 48p
 平姓秩父氏の性格
 一系図の検討を通して 菊池 紳一
 史料紹介 八坂神社文書「旧建内
 文書 社領十八」所収の安保氏
 関係文書調査概報 清水 亮
 動向 戦後埼玉の地域史研究雑誌
 について 重田 正夫
 第54回研究発表会要旨
 『新編埼玉県史』編さん事業と
 県立文書館 重田 正夫
 埼玉県の市町村史編纂の特徴と
 今後について 実松 幸男
 埼玉県における自治体史編纂と
 近世史研究―関東近世史研究
 会と埼玉県地方史研究会の活
 動を中心に 細野健太郎
 地域研究発表大会要旨
 所得調査委員の異議申し立て運
 動から見た日露戦後地方名望
 家層―埼玉県南埼玉郡を中心
 に 中西 啓太
 近世後期における改革組合村総
 代の検討―武蔵国熊谷宿組合

を事例に 藤井 明広
 事務局からのお知らせ
 新刊紹介 『埼玉県史料叢書15
 栗橋関所史料四 御関所日記書
 抜II・御用留I』
 ◆日本の石仏
 日本石仏協会(発売:青娥書房)
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
 www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
 ◇143 2012.9 A5 80p 2100円
 巻頭随想 暑・熱・圧・厚・篤
 平成24年の夏 坂口 和子
 《特集 彩色と石仏》
 石神仏に色を塗ること
 一その民俗的解釈に向けて 渡邊三四一
 安曇野の道祖神彩色碑について 石田 益雄
 信州筑摩野の彩色道祖神碑につい
 て 窪田 雅之
 南九州の「タンカンサア」 山下 真一
 若狭小浜の化粧地蔵―小浜市西津
 地区と小浜地区を中心に 一矢 典子
 津軽の化粧地蔵 古川実／小山隆秀
 新潟県長岡市栃堀の青色道祖神 星野 紀子
 誌上講座
 名号塔の知識(11) 岡村 庄造
 「石」を知る(33) 小松 光衛
 石燈籠入門(53) 嘉津山 清
 石仏写真と私(33) 杉本 康希
 あ・ら・か・る・と―私の石仏案内
 婆娑婆演底主夜神 滝本やすし
 風変わりな宝篋印塔 門間 勇
 会員の広場 近江礼子／小松光衛
 宇野瑛司／筒井隆義
 海外石仏研修報告 中国・山西省
 と河北省の石仏をめぐる
 岡村庄造／中森勝之

はがき通信 新井るい子／佐藤紀年
第94回石仏見学会報告 恵比寿か
ら渋谷・原宿の石仏 三代川千恵子
石仏交流／石仏談話室

◆富士山文化研究会会報

〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円

◇36 2012.10 B5 8p

平成24年度総会報告

富士山関係企画展案内 富士市立

博物館テーマ展「講一人と人と
をむすぶもの」／金剛 永謹
能の会第28回東京公演「能 富
士山 他」

足利富士山信仰

神道六教派特立百三十年記念事業

公開シンポジウム「二十世紀の
教派神道一百三十年を踏みしめ
て」

最近の富士山の状況／富士山信仰

最古の木像／忍草浅間神社の三
神像

富士山関連ネタ 平成24年度富士
山総合火力演習／富士見高原病
院「富士病棟」解体／富士塚も
我々の手を離れたようですネ？！

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学文学部内 TEL043-251-1111
年4000円 1982年創刊

history.lchiba-u.jp/~chibareki/

◇61 2012.11 A5 132p

巻頭随想 思わぬ発見をする 池田 宏樹
歴史随想

埼玉県八潮市における地名保存

運動 藤方 博之

藩医の実録『三枝俊徳日記』 中澤 恵子
甲子改革期の警察と民衆 伊藤 俊介
メリット天国イギリスー近現代に
おけるメリトラクシー観の変遷

水田 大紀

研究ノート 戦国期武蔵八幡山

(雉岡)城周辺における地域編制
一衆編制を中心に 伊藤 拓也

〈創立30周年記念大会シンポジウム

「千葉から通史を考える」

基調講演 地域史からみた通史ー

房総の歴史から日本史へ 川尻 秋生
コメント

千葉から通史を考える 森脇 孝広
「千葉から通史を考える」を外

国史の立場から考えてみる 崎山 直樹
「地域」ということばの括り・

年表が持つ功罪と「通史」 和田 健
地域史と通史の歴史教育におけ

る価値について 加藤 公明
討論と反省

「シンポジウム」を開催して 横山 陽子
参加記 シンポジウム「千葉から

通史を考える」 井上 直子
動 向

国立歴史民俗博物館総合展示第
三展示室のリニューアルにつ

いて 岩淵 令治
展示を多くの人々に楽しく観て

いただくために千葉大学の
新入生ガイダンスの経験から

久留島 浩

書 評

新井浩文著『関東の戦国期領主

と流通ー岩付・幸手・関宿ー』
田中 宏志

小田原近世史研究会編『近世南

関東地域史論ー駿豆相の視点

からー』 小田 真裕

新刊紹介

黒田基樹編著『扇谷上杉氏』 田嶋 悠佑
安在邦夫著『自由民権運動史へ

の招待』 矢嶋 毅之

宇野俊一著『明治立憲体制と日

清・日露』 上田 浄

池田宏樹著『近代房総の社会経

済と政治』 中村 政弘

見学記 馬の博物館企画展「スス

メ！小田原北条氏」を見学して
市野澤 永

資料保存活動 千葉歴史・自然資

料救済ネットワーク学習会に参
加して 新井可菜子

大会報告

千葉歴史学会第31回総会報告

◆房総石造文化財研究会会報

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3

石田年子方 TEL04-7196-3375

年3000円 1980年創刊

◇115 2012.10 B5 10p

研修バス旅行について 安房の石

仏を訪ねて／石仏見学会のお知
らせ 我孫子市湖北台の石仏ー

成田街道と小堀河岸／石仏勉強
会のお知らせ テーマ 香取市

の板碑について

老婆風の疱瘡神 沖本 博

松戸の石仏(5) 松戸に所在する

特徴ある庚申塔 入谷 雄二

会員寄稿 利根川下流域の百庚申

石材 飯岡石について 宮内 欽一

石仏探訪(7)

大日如来像を刻む己巳塔 石田 年子

会員情報／事務局より

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20

松田孝史方 TEL047-342-1764

年5000円 1961年創刊

www.matsudoshidankai.net

◇52 2012.11 B5 116p

水戸家小金領の鷹場について 松田 孝史

松戸駅・東口界限“記憶する原風
景”(1) 池田 眞也

萬満寺に「栢日庵碑」建立の記 神尾 武男

松戸 村の名を考える(2) 末満 宗治

松戸の戦争遺跡を歩く(3) 田嶋 昌治

松龍寺開創四百年 花輪 茂道

水戸道中の「引直シ」(付け替え)

の年代 山口 博行

私が出会った「鎌倉御家人」の子

孫 佐藤敬一郎

今に伝う上総掘り技術 國定美津子

「歴史・資料・物語」歴史資料を判

りやすく 古木 均

会員のひろば

入会に際して 安達 幸雄

なま街道の今昔 村上雄一郎

松戸史談会との出会い 小林 正文

マラソンの百年 小野塚利雄

二人のオレンジ人 古木 均

残暑厳しき夜の戯言 勝部 建一

トピックス 県立松戸高校(松高祭)

勝部 建一

松戸史談会ホームページ開設 古木 均

第63回松戸市文化祭参加

文化講演 禅の歴史について 石川 光学

伝統芸能 松戸の万作踊り 池田 眞也

文化祭会場実演風景 編集委員

第64回 松戸市文化祭案内 編集委員

松戸史談会講演会「小金城跡と根

本内城跡」 関山 純也

松戸史談会会員勉強会(要旨)

小金牧に残る馬の鞍 塩尻 英児
 松戸史談会主催史跡めぐり（記録
 と解説） 編集委員
 松戸史談会活動記録 編集委員
 会員計報 金子正男様、広徳寺大
 玄和尚様、綿貫政治様

◆アーカイブズ 国立公文書館
 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇48 2012.11 A4 76p
 カラーグラビア
 〈特集 第17回国際公文書館会議(ICA) プリ
 スペン大会 変化の風—持続可能性、信頼、
 アイデンティティ〉
 第17回国際公文書館会議(ICA) プ
 リスペン大会について 中山 貴子
 検索から連想へ
 一知識の蔵を繋ぐ方法 高野 明彦
 日本の大学アーカイブス
 一広島大学文書館を一例に 小池 聖一
 公文書管理法の制定の意義と施行
 後の課題について 岡本 信一
 デジタル・アーカイブズと歴史理
 解および歴史研究 平野健一郎
 国立公文書館のデジタルアーカイ
 ブ 風間 吉之
 悲惨から明日への希望の発見—東
 日本大震災からの復興への歩み
 高山 正也
 日本の地方自治体における公文書
 管理制度の整備と公文書館の設
 置へ向けた取り組み 白井 哲哉
 日本における修復技術の変遷 増田 勝彦
 ICA プリ スペン 大会 および
 AICCM についてにおける修復
 ワークショップ 中島 郁子
 ICA 国際アーカイブズ開発基金の

目的と活動実態 菊池 光興
 国際公文書館会議東アジア地域支
 部(EASTICA)2012年理事会及
 びセミナーの概要 太田 由紀
 日本における公文書管理と標準 大澤 武彦
 被災公文書等修復支援事業の現状
 と課題 下重 直樹
 「国際アーカイブズの日」記念講
 演会及び平成24年度全国公文書
 館長会議の開催

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
 〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
 ア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855

◇187 2012.10 B5 8p
 2012年版赤米栽培マニュアル
 10月の赤米作り
 おしらせ／おたより
 鹿児島県のとうほし田・たいとう
 田 菅野 郁雄
 赤米雑話(143)
 81 石川県の赤米・つづき 長沢 利明
 ◇188 2012.11 B5 8p
 おしらせ／おたより
 島根県のとうほし田・たいとう田
 菅野 郁雄
 赤米雑話(144) 81 石川県の赤
 米・つづき／82 宮崎紘氏と赤
 米試食会 長沢 利明

◆足立区立郷土博物館だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 TEL03-3620-9393 1987年創刊
 www.city.adachi.tokyo.jp/003/d10100156.html

◇63 2012.10 A4 4p
 区制80周年記念特別展「足立の仏
 像—ほとけがつなぐ足立の歴史
 一」 10月20日(土)～12月9日

(日)／特別展開連事業
 特別展・典作品のご紹介／特別
 展刊行物のご案内
 区制80周年記念収蔵資料展「あだ
 ちの古文書大研究」 平成25年1
 月12日(土)～3月3日(日)／郷土
 芸能鑑賞会／初釜の会／博物館
 の映画会
 区制80周年記念企画展「幕末・明
 治の千住の美術—村越其栄・向
 栄父子と高橋廣湖—」 平成25
 年3月23日(土)～5月6日(月・祝)
 ／博物館の桜まつり／東京クリ
 エイティブウィークス

◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇536 2012.10 A4 4p
 区制80周年記念特別展 足立の仏
 像—ほとけがつなぐ足立の歴史
 郷土博物館
 縁故疎開で過ごした北鹿浜の想い
 出(2) 小川誠一郎
 ◇537 2012.11 A4 4p
 明治期史料から探る足立区内の廃
 寺跡について 柴田 英治
 戦時下の足立について 中西 義衛
 江戸東郊 浪人由緒ミニ事典(5)
 は行その1 郷土博物館

◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇295 2012.10 A4 12p
 区制80周年記念特別展—ほとけが
 つなぐ足立の歴史—「足立の仏

像」展
 資料紹介 1960年・東京都刊「合
 衆国首府 ワシントンの桜」そ
 の1
 神社と鳥居 赤田 直繁
 足立区の登録文化財を観る 有形
 文化財(書跡) 扁額「近江小学」
 1面／扁額「梅島小学校」1面
 品川宿探訪 9月2日
 「足立の仏像」展によせて 「子授
 け観音立像」写真で里帰り
 たずね人 本木村の六部 羽田栄
 太(『足立史談』第69号、昭和
 48年11月)
 「姫街道」写真紀行(発行 昭和
 59年5月25日、著者 神谷昌志
 著、発行 国書刊行会)
 六十六部回国のこと 安藤義雄
 (『足立史談』第204号、昭和60
 年2月)
 「姫街道を歩く」浜松市生活文化
 部生涯学習課編 平成21年3月
 刊／足立史談会役員、三ヶ日町
 を訪問 高栖寺で子授け観音を
 拝観
 「郷土:三ヶ日町の歴史を語る人び
 と」三ヶ日町郷土を語る会編
 平成23年9月 姫街道見て歩き
 (6) 六部様、姫街道見て歩き
 (1) 大谷代官屋敷／Vol.6 大
 谷パート1 郷土探訪スケッチ
 大谷の歴史を歩く、Vol.7 大
 谷パート2 郷土探訪スケッチ
 幕閉じた分校校舎
 平成24年8月16日 六部様供養祭
 浜松市北区三ヶ日町大谷 今年
 の「六部様供養祭」
 ◇296 2012.11 A4 8p

史談大学特別講座 回国修行者門
心がつないだ歴史と人の絆に学
ぶ／冬季区民教養講座「足立区
の庚申塔」／江北美術展／荒川
今昔写真展
合衆国首府「ワシントンの桜」(2)
桜の海外輸出を顧みて
足立区の登録文化財を観る 有形
文化財(典籍) 大般若経 完本
常善院／大般若経 完本 大聖
寺
文化財ウィーク／鴈外記念館開館
称名寺と金沢文庫／区民まつり参
加
足立史談298号復刻 三ヶ日町へ
忠道円心居士を尋ねて 安藤 義雄
投稿 日暮里・舎人ライナー 加藤 米二
事務局からの追記

◆縁 集いの広場
〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-
603 武蔵野エイトマンション
倉石美都方
◇1 2012.10 A4 20p
韓国のトイレ空間 倉石 美都
ドラマティック婚—披露宴の演出
における起承転結 高久 舞
より観光化する観光地のマイナス
越志 真紀
生業からいきがいへ—石川県珠洲
市蛸島町の商店を事例に 安藤 有希

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682 1966年創刊
◇273 2012.11 A5 33p
栃木県旧栗山村の「板橋区の森」
について—一区最初の交流自治体

との「十周年記念碑」 石塚 輝雄
向原の昔(2) 向原の寺社 三原寿太郎
聞き書き 初年兵の六百日(3) 泉 貞代
旧蓮沼村の石祠と廃寺金剛院を追
って(補) 井上 富夫
ひろば 新撰組と新徴組 猪瀬 尚志
史談会のあゆみ(8月・9月)／伊藤
前会長瑞宝小綬賞・小林会長文
化庁表彰・史談会板橋区感謝状
／受贈図書目録(9月・10月) 事務局

◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより
八王子市総合政策部市史編さん室
〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3
TEL042-666-1511
◇10 2012.9 A4 8p
調査・研究の成果を市民へ—今秋、
市民講座を開催！八王子学園都
市大学へも講座を提供
市民講座「大地に刻まれた八王子
の原始・古代」を開催します
『新八王子市史』の刊行開始によ
せて 村上 直
専門部会の動きと計画 原始・古
代部会／中世部会／近世部会／
近現代部会／民俗部会／自然部
会
平成23年度刊行物のご案内／平成
24年度刊行予定の本／受贈図書
・資年度料
チャレンジインターンシップ体験
記 より知ることのできた八王
子 笹川 紗希
歴史の窓(10) 水田のある風景—
田植えの調査から 春日 祐美

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12

加藤恒彦方
◇387 2012.9 B5 24p
下山の喜び 加藤 恒彦
消えた古代寺院の謎を追う(前) 小泉 重光
川越山(カンゼ山)山名考 藤本 一美
大国魂神社と金鑽神社—武蔵国六
所宮をめぐる一考察 町田 尚夫
奥武蔵、秩父の獅子舞(42)
一飯能市、北川の舞 関口 洋介
奥秩父・真ノ沢林道 吉田美知子
山行報告
会務報告／山行計画／安全対策部
だより／齊藤久美子さんの追悼
山行／会員消息／委員会のお知
らせ／集会のお知らせ
◇388 2012.11 B5 27p
若手の活躍と奮起を 加藤 恒彦
円光寺梵鐘の流転 酒井 昌樹
汽車が日丹線を走っていた頃
—日本ニッケル鉄道回顧 町田 尚夫
奥武蔵、秩父の獅子舞(43)
—多和目のオシシ 関口 洋介
消えた古代寺院の謎を追う(後) 小泉 重光
山行報告

◆関東近世史研究
関東近世史研究会(発売：岩田書院)
〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-15-2
法政大学大学院 日本史学研究室気付
年4000円 www.kankin.info
◇72 2012.10 B5 113p 2000円
《2011年度大会特集 近世後期の江戸警衛
—将軍不在時を中心に》
問題提起 近世後期の江戸警衛
—将軍不在時を中心に 常任委員会
大会報告
近世後期における江戸城の留守
体制と幕政 小宮山敏和

下田・羽田奉行所の設置と江戸
湾防備網構想—天保14年日光
社参前後の動向を中心に 椿田有希子
文久・元治期の将軍上洛と「軍
港」の展開—相州浦賀湊を事
例に 神谷 大介
コメント 神谷大介報告について 保谷 徹

大会討論要旨
総会報告 2011年度関東近世史研
究会総会報告 常任委員会
書評と紹介 東京学芸大学近世史
研究会編『内藤新宿と江戸—首
都江戸と周辺の結節点の視点か
ら—』 宮坂 新
月例会報告要旨
近世前期債務処理の段階的特質
—足柄平野農村を素材に 荒木 仁朗
土豪開発新田の存立構造—武蔵
国多摩郡小川村を素材として 小酒井大悟
改革組合村の変容と地域の公共
圏の成立 岩橋 清美
親分的大惣代と地域社会 坂本 達彦
拙論「頼み証文と地域医療」に
関する若干の考察 細野健太郎
江戸の下水管理と武家・町組合 松本剣志郎
所領なき「御朱印」
寺院の寺領と地域 保垣 孝幸
都市社会と「自粛」現象—江戸・
東京における鳴物停止の構造
・展開を中心に 佐藤 麻里
「奥」の教養と役割—大名姫君
の諸芸稽古を中心として 木下はるか
生麦事件に関する一考察—幕府
の動向、日仏関係からの検討 塚越 俊志

旦那場の場境争論について
一武蔵国和名村の事例から 吉田 梨奈
大区小区制の展開と村連合一埼
玉県熊谷市・栃木県鹿沼市域
を事例に 栗原 祐斗
概報 受贈書籍・雑誌目録

◆季刊 Collegio 之 潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 2005年創刊
www.collegio.jp

◇50 2012.10 B6 72p 300円

ペリー艦隊が見た地形(最終回)

なぜ横浜周辺には台地と低地が
存在するのか 松田 磐余
フランス古地図音楽散歩(32)

リシュリユー通り 関根 敏子
小形図紹介(13) 磐城塩田図〈福
島第一原発敷地〉 山下 和正

縄文遺跡と地形 稲城市 多摩ニ
ュータウンNo9遺跡 安孫子昭二
豊川だより(1) 久間木 聡

せたがや中世拾い歩き(1)
鉤の手と寺院の配置 谷山 敦子
中西悟堂を歩く(27) 日本橋 西村 眞一

東京電車線路物語(27)
車両の色(2) 井口 悦男
「帝都復興事業」にみる都市改造

道路・橋梁・運河(5) 菅原 健二
ロシア人が語る地球発見物語―
『学習参考書地理学的発見の歴

史』について(10) 佐々木路子
新刊案内 Collegio Bookklet2
鈴木ツヤ著 私の精神科看護録

／Collegio Bookklet3 タフ
ィ・トーマス著 三田村慶春・
光藤由美子訳 タフィおじさん

のおはなしコート

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤
栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇106 2012.11 B5 10p

第357回講演会 9月30日(日)
遺跡から見る江戸の食文化 阿部 常樹
第358回月例研究会 10月28日(日)

東京砲兵工廠内の電気軌道 名古屋 貢
第359回月例研究会 11月11日(日)
北区の川 昔と今(赤羽文化セ

ンターまつり展示報告) 林 健一
お知らせ／北区史を考える会DV
Dについて

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188

◇186 2012.9 B4 8p

わが家の年中行事を作ろう 沖縄
県石垣市四ヶ字 ソーロンのア
ンガマ 南の島の祖先霊は笑い

につつまれて 久保田裕道
これからの催しもの案内 儀礼文
化セミナー／儀礼文化講座／第

22回関西支部秋季学術大会
レポート 儀礼文化講座 第3回
7月8日(日) 礼法「小笠原流婚

礼式について」講師：小笠原
清忠 佐々木 寛
会員の声

儀礼文化教育 永井とも子
和菓子の成りたち 源田 萬年
お祭りを通して人々のつながり感

じました。第32回儀礼文化
学会地方大会「角館神明祭と
秋田の儀礼文化を訪ねて」

第一日 宵宮祭への参列 佐々木 寛
第二日 角館から田沢湖へ 佐々木幸子

第三日 ナマハゲを体験 久保田裕道
十月 月ごとの歳事 渡辺良正の
祭りスケッチ 兵庫県 灘のけ

んか祭り／坂越船祭り 渡辺 良正
書 棚
山崎一司著『花祭りの起源―死

・地獄・再生の大神楽』 久保田裕道
佐古愛己著『平安貴族社会の秩
序と昇進』 後藤 正明

宗教法人と税金(3) 法人税 消
費税率アップで(平成25年9月末
に注目) 空本 光弘

ひろば
葛西離子保存会六十周年を祝う
会に参列して 中村 裕之
明治天皇百年祭郷土芸能奉納

東日本大震災の復興を願って
富永 優
くらしひとこと

あずけられた煎茶 小川 可楽
第7回無形民俗文化財研究協議会
「記憶・記録を伝承する―災害

と無形の民俗文化―」 今石みぎわ
◇187 2012.11 B4 8p
神さまに供える煮物づくり 青方

神社の御膳部祭 長崎県南松浦
郡新上五島町青方郷 久保田裕道
これからの催しもの案内 儀礼文

化セミナー／儀礼文化講座／第
22回関西支部秋季学術大会
レポート 儀礼文化講座 第4回

10月14日(日) 華道「タテバナ
からモリバナまで」講師：由
水幸平／儀礼文化セミナー 第

6回 10月6日(土) 料理「寒露・
秋を味わう」講師：柳原一成
会員の声

子どもの読書から 勝山 高

はじめての儀礼文化講座を受講
して 鈴木 邦彦
比婆荒神神楽―広島県東城・西城

の荒神信仰と式年大神楽 松尾 恒一
十一月 月ごとの歳事 渡辺良正
の祭りスケッチ 熊本県 妙見

祭 熊本県八代市 八代神社／
めし食い祭り 熊本県阿蘇郡高
森町色見 大避神社

宗教法人と税金(4) 消費税
消費税の基礎知識 空本 光弘
書 棚

宮家準著『修験道―その伝播と
定着―』法蔵館 後藤 正明
渡辺伸夫著『椎葉神楽発掘』

岩田書院 久保田裕道
ひろば 震災以後の福島における
「地域の儀礼文化」 浪江の「本

城御神楽」について 丹治 逸雄
くらしひとこと
すき焼きとくわ焼き 柳原 紀子

◆国史学 国史学会

〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246
www.www2.kokugakuin.ac.jp/~kokushi/

◇208 2012.10 A5 133p

江戸の文化を考える歴史的前提 青木美智男
日本古代の外国使節への饗宴儀礼
浜田久美子

研究ノート
日本古代の皇太子元服加冠儀 岡田 まり
史料紹介

『大奥御年寄瀧山日記』下 畑 尚子
書評と紹介
大谷貞夫著『江戸幕府の直営牧』

久留島 浩
畑尚子著『徳川政権下の大奥と

奥女中』 藪田 貴
 例会報告要旨
 1月例会
 九世紀、入唐求法僧と海商 李 侑 珍
 古代の神田と寺田 三谷 芳幸
 3月例会 卒業論文発表会
 縄文—弥生移行期における物
 質文化と社会 堤 英明
 南朝梁の外交の特質について 金子ひろみ
 前期摂政制と関白の成立 橋本 壘
 奥州藤原氏と京都 坂本 仁示
 日光山古絵図の景観年代に関
 する一考察 傳田 直人
 近世中後期における武蔵国の
 入札 森村 圭介
 十九世紀イギリスの墮胎法と
 産婦人科学の男性化 佐藤恵美子
 現代ドイツの想起文化と記念
 碑論争 植木 美加
 昭和初期優生学とエロ・グロ
 ・ナンセンスにみる都市中
 間層の身体感 田中 史恵
 ◆史 叢 日本大学史学会
 〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
 日本大学文理学部史学研究室内
 TEL03-3329-1151
 ◇87 2012.9 A5 128p
 講演記録 「和蘭陀風説書」の世界
 —オランダと日本 松方 冬子
 日本の新聞はいかに「苦学生」を
 語ったか—1910年代の『萬朝報』
 を中心に 町田 祐一
 研究ノート 戦国大名今川氏の領
 国支配について—今川氏に対す
 る意思伝達に関わって 臼井 進
 「環境史」関連文献目録(児童書)

椎名則明／吉原潤／
 下川雅弘／関屋雄一
 西日本の5遺跡から採取した貝殻
 試料の放射性炭素年代と較正年
 代—較正年代による遺跡の編年
 小元久仁夫／竹石健二／堂込秀人
 ◆城郭だより 日本城郭史学会会報
 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
 書箱50号 1993年創刊
 ◇79 2012.10 A4 6p
 愛知県陶磁資料館企画展「戦国の
 あいち 信長の見た城館・陶
 磁・世界」から
 最近の各地の城郭ニュースから
 山形県本丸西堀から金箔瓦／越
 中高岡城で石垣を検出／七尾城
 に380ヶ所の石垣遺構／足利義
 昭第の内堀西側検出／新発田城
 帯曲輪石垣検出／小田原城御用
 米曲輪の調査／名古屋城石材地
 から「三左」の刻名／上田城古屋
 敷の堀が出土／兵庫城の石垣検
 出／鳥取城に巻石垣が復元／鳥
 取城攻めの防塁か、2kmの土塁
 ／宇陀松山城から象頭瓦が出土
 忘れられたような佐貫城址を訪れ
 て 西ヶ谷恭弘
 最近の注目される城郭関係図書か
 ら 静岡古城研究会『静岡県の
 城跡・駿河国版』、福井健二・
 竹田憲治・中井均編『三重の山
 城・ベスト50を歩く』、山崎信
 二著『瓦が語る日本史』、鳥取
 市教育委員会編刊『鳥取城調査
 年報』5号
 各地の城郭研究会活動から／日本
 城郭史学会活動から／好評頒布

中の報告書・出版物
 ◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会
 〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
 北村国男方 TEL03-3844-2008
 1987年創刊 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
 ◇52 2012.10 A4 20p
 はじめに
 隅田川への流入河川の近況 糸井 守
 平成24年度・隅田川市民交流実行
 委員会総会報告 片田 宏一
 総会記念講演会 講演 蘇えれ！
 江戸前の海と生物多様性—シラ
 ウオ・アオギス等東京湾の再生
 に向けて 講師：小松正之氏 猪狩 達夫
 隅田川大学公開講座
 セミナー 新版「荒川・隅田川
 散策絵図」出版記念講演 平
 成24年6月30日(土) 講師：
 村松昭氏 末永公一郎
 フィールドワーク(FW)20 多
 摩川の水辺探訪と野草摘み
 平成24年4月28日(土) 糸井 守
 第34回隅田川おどり納涼大会 平
 成24年8月18日(土)～19日(日) 片田 宏一
 河川・水辺の自然体験学校を開催
 平成24年7月25日(水) 糸井 守
 隅田川テラスを走る一父 柿沢弘
 治の思いにふれて 柿沢 未途
 隅田川の魅力を世界へ 和田 彰
 隅田川と古典 白石 紀一
 フィリピン共和国セブ市Butuanon
 川の水生生物による水質調査 崎野 始
 四万十川交流訪問 夏の四万十川
 を訪ねて 日時：平成24年8月
 24日(金)～26日(日) 片田 宏一
 四万十川徘徊物語 岡部 恒雄
 四万十に詠う 鈴木 俊一

会員便り
 継続は力なり 蔵 清之
 私の趣味とボランティア活動と
 仕事 平田 拓也
 中央区環境保全ネットワークの
 活動 喜納 愛子
 石神井川最下流の堤防について 馬場 永子
 東京都観光汽船の新造船「ホタ
 ルナ」就航 糸井 守
 「一般社団法人こじゃんと四万
 十」設立のご挨拶 山野上洋祐
 喜寿でオペラ主役に挑戦 沼尻 重男
 佐藤武レポート 「隅田川は、き
 れいになった。」という事につ
 いて 佐藤 武
 ◆西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円 1957年創刊
 www11.ocn.ne.jp/~oinari/
 ◇220 2012.9 B5 33p
 中近世移行期における神楽と救済
 (上)—寛文四年栃木家能本を中
 心に 小原 清
 富山県南砺市(旧東砺波郡平村)小
 来栖におけるバンドリネズミ
 (ムササビ)猟 森 俊
 高輪の今昔 大島 建彦
 三浦市三崎のいなりっこ行事 清水 亨桐
 赤飯と小豆飯の禁忌伝承について 近藤 雅樹
 大阪の天狗像(下)—昔話・伝説・
 世間話からの考察 高橋 成
 粕江市の生業覚書(3) 長沢 利明
 ◆全日本郷土芸能協会会報
 〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク

ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇69 2012.10 A4 24p

淡路人形浄瑠璃

兵庫県南あわじ市

明治天皇百年祭—郷土芸能奉納

被災地の郷土芸能が明治神宮に
て奉納公演／日中国交正常化40
周年記念「スーパー夏祭り in
北京2012」

第15回全国獅子舞フェスティバル
掛川 開催迫る！

東日本大震災・郷土芸能復興支援
のプロジェクト事業 東日本大
震災・郷土芸能復興支援のプロ
ジェクト事業第1回助成活動を
決定

民俗芸能で広がる子どもの世界
第14回全国こども民俗芸能大会
報告 第9回伝統文化研修セミ
ナー

祭暦 2012 10月～2013 1月
「地芝居研修会・ワークショップ」
のお知らせ 地芝居ワークショ
ップ in 秩父路／二つの写真展
(吉澤昭正)／地域伝統芸能大会
イン福島 ふるさとの祭り2012

地芝居探訪(43) 湖西歌舞伎公演
／大桃の舞台公演／戸沢花湖蝶
歌舞伎／「相生座」美濃歌舞伎
納涼公演／黒沢尻歌舞伎

地芝居見聞(9) 菅生の組立舞台 北河 直子
人形芝居観覧記 第14回受け継が
れてゆく伝統人形芝居 北河 直子
地芝居あれこれ(8)

大向こうから見た地歌舞伎 蒲池 卓巳
地芝居公演情報 10月下旬～12月
秋～冬の芸能イベント情報 2012

民俗楽器(45) 中国、臨武儺戯 山本 宏子
紙上講座(69)

我が国の芸能形態を考察する 中坪 功雄
会員紹介

一関民俗芸能団体協議会

谷汲踊保存会

寄稿 新藤兼人監督「一枚のはが
き」 映画製作に携わって 有
田神楽団

会員情報／郷土芸能なう!!(西嶋
一泰)／『マレの会』『マレの
会』とは

BOOK良書紹介 「過疎地の伝統
芸能の再生を願って」—現代民
俗芸能論 星野紘著(笹生)、「椎
葉神楽発掘」渡辺伸夫著(西田)

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/

◇244 2012.10 A4 2p 100円

三統 二八そば

◇245 2012.11 A4 2p 100円

香具師の内幕 ゴールド会社

三統 二八蕎麦(2) 蕎麦の値段推移

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp

◇148 2012.11 A5 118p

《特集 空中写真に見る多摩の昔》
空中写真でわかること・地図でわ
かること—「自然」と「住まい」

に着目して 芳賀 啓

香雪園と玉川学園界隈 田中 正大

空中写真から読む多摩の鉄道廃線

今尾 恵介
空中写真から見た府中の遺跡 湯瀬 禎彦
空中写真を減災に役立てる 遠藤 宏之
洋風建築への誘い(37)

吉祥寺 池田石材店 伊藤 龍也
建物随想記(32)

大谷石と洋風建築 酒井 哲
古文書は語る(35) 秋川流域の村
落開発(下)—丸山雄重家文書
「帯刀と百姓取計らいにつき覚」
「検地御用につき覚」より 馬場 憲一
多摩の食文化誌(9)

大麦と小麦にも立場がある 増田 昭子
多摩のみほとけ(11) 東大和市慶
性院 木造薬師如来立像 齊藤 経生
本の紹介

馬場喜信著『植田孟縉—雲は夢
見る 世に事なきを—』 岩橋 清美
今尾恵介監修 日野の昭和史を
綴る会編『日野市旧桑田村の
地名』 小島 政孝

東大和市郷土史グループ・みち
の会編『武蔵国多摩郡後ヶ谷
村杉本家文書(安政年間)上
中 下』 安島 喜一
まちの情報ハブ・図書館(11)

青梅市図書館 倉林和子／佐藤明子
瑞穂町図書館 池谷 誠
情報ページ

◆伝 え 日本口承文芸学会
〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25
白百合女子大学 間宮史子研究室
TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊
ko-sho.org

◇51 2012.10 B5 8p

口承文芸としての都市伝説 廣田 収
第62回日本口承文芸学会例会報告

テーマ「3.11 一年後から」
第36回日本口承文芸学会大会
公開講演報告1 肖像と伝説—市
橋鐸・林輝夫の内藤丈艸肖像
収集から 高木 史人
公開講演報告2『日本の伝説』
と愛知の伝説—東浦町生路井
の杖清水伝説をめぐる 齊藤 純
公開講演報告3 吉良上野介とは
何者だったのか—史実、伝承、
虚構のはざま 川田 順造
研究発表報告1

大学生の就職活動・「自己分
析」からの「声」—「成長物
語」をめぐる共同主幹性の
生成 矢野 敬一
枝雀と芭蕉—枝雀の落語と芭
蕉の俳諧を巡って

ハリト・ムズラックル
研究発表報告2

サハリン口承文学の地域差 丹菊 逸治
美談集のなかの『君が代少年』
—植民地下台湾の公共心と
愛国心 伊藤 龍平

シンポジウム報告「口承文芸研
究は都市伝説をどう扱うか」小池 淳一
市民向け企画 第1回口承文芸
公開セミナー報告『「お話・
語り・ストーリーテリング」
活動から見えてくること—口
承文芸研究と実践活動との相
互交通のために—」 杉浦 邦子
事務局便り

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548

tias3.web.fc2.com
◇97 2012.11 A4 6p
報告「さかのぼり技術史」の試み(1) ベルリンとスカンジナビア3首都の軌道交通変遷史(地下鉄編) 柚須 紘一
博物館シリーズ(10) 海軍三六式無線電信機 小野田良智
東京国際包装展開かれる 多田 統一
2012年度第5回理事会の議事概要／2012年度第6回理事会の議事概要／「金子六郎オーラルヒストリー」DVDの頒布について
要塞を訪ねて—第一部 来島砲台—生き残った沿岸要塞 吉田 修
茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(1)「シャトーカミヤ(牛久シャトー)本館」(1) 八木 司郎

◆日本史攷究 日本史攷究会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育・総合科学学術院1010研究室
TEL03-5286-1574 年3000円 1957年創刊

◇36 2012.11 A5 88p
平安初期における災害対応—予防の観点より 山口 えり
幕末・明治初期のキリシタン民衆社会の地域的構造についての—考察 ノゲラ・ラモス・マルタン
戦後史をどのように教えるか—『鉄腕アトム』と『ゴジラ』の教材化 太田尾智之
「松尾社境内図」について 松井 吉昭
新刊紹介 渡辺伸夫著『椎葉神楽発掘』 星野 岳義
史跡めぐり 川越 谷田 雄一

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇342 2012.10 A4 4p
豊島氏関係史料を読む(16)
宮城氏の知行と軍役 伊藤 一美
東京市養育院と彼のひとびと(後篇3)一児玉花外・島崎こま子・長谷川利行・物集高量 日向康三郎
ほとけ風呂 吉田 禎昭
11月例会 紅葉の中仙道史跡探訪

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊
◇101 2012.11 B5 4p
第101回例会 貫井池と周辺の史跡 葛城 明彦
所沢で地名類型を考える(2)「谷」「ヶ谷」地名再考 後藤 光
日本の地名を縄文語で解釈する 井上 政行

◆民具研究 日本民具学会
〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
www.soc.nii.ac.jp/nmg/
◇146 2012.10 B5 104p
日本民具学会第36回大会 宮本常一没後30周年記念シンポジウム「宮本常一 写真による生活文化研究」
基調報告 宮本常一写真の可能性—瀬戸内と三河のフィールドワークを通して 印南 敏秀
事例報告1 宮本常一写真データベース

—スの現状と課題 高木 泰伸
事例報告2 写真資料の可能性—地域と民俗の継承へ向けて 清水 満幸
事例報告3 村上節太郎写真から見えてくるもの 井上 淳
パネルディスカッション「写真資料の魅力と可能性」
コメント1 田村善次郎
コメント2 湯川 洋司
討 論
民具に内在する二つの性格—「普通民具」と「特殊(個独)民具」 田邊 悟
越後アンギンについて 井上 晶子
ひろば 宮本常一先生を偲ぶ 岩井 宏實
宮本常一先生と商家博物館むろやの園 小田善一郎
書籍紹介 小林茂著『秩父 山の民俗考古』 大久根 茂
学会記事

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内
TEL03-3203-4141 年6000円 1985年創刊
◇53 2012.9 A5 53+42p
美濃における三信遠系の田遊び—「どうじゃこう」を中心に 西岡 陽子
俄の〈芸〉が生まれるとき—熊本県阿蘇郡高森町の風鎮祭を事例として 松岡 薫
書 評 福原敏男著『江戸最盛期の神田祭絵巻—文政六年御雇祭と附祭—』 入江 宣子
吉川祐子著『西浦田楽の民俗文化論』 久保田裕道
民俗芸能研究文献目録 平成21年

西嶋 一泰

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保谷村郷土資料』を手掛かりに
下保谷の自然と文化を語る会
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊

◇7 2012.10 A4 22p
秋田マタギの開明性 村上 一馬
武蔵・保谷村を中心とする文芸活動とその発展—1920年代の雑誌『若芽』及び『叢生』を通して 高田 賢
下保谷村の力石 高橋 孝
子供の目で見えた昭和30年代の保谷駅周辺 藤本 均
自然と生きる 西東京市の主な屋敷林(6) 北町・栄町・ひばりが丘北・住吉町 小川 武廣
Columu 月の兎 亀田 直美
資料1 有賀喜左衛門氏による『武蔵保谷村郷土資料』評(『民族学研究』第2巻第2号 1936(S11)年4月)
資料2 古鶴と民俗博物館 尾崎 秀樹(郷土誌『保谷』第1号 昭和38年10月1日発行)
第4回 民具展示「屋敷林とむかしのからし—装う・食す・住まう—」のご案内

◆明治維新史学会だより
〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学第一研究館 文学部歴史学科
小泉雅弘研究室 2004年創刊
www.ishinshi.jp
◇18 2012.10 B5 10p
2012年度明治維新史学会秋期大会の案内

〈2012年度明治維新史学会秋期大会報告要旨〉
池田屋事件再考
一進発・天誅・一会桑 中村 武生
譜代藩の「明治維新」
一彦根藩を素材として 時広 雅紀
明治百年と赤報隊
一悲劇像の創出過程(仮) 岩立 将史
2012年度明治維新史学会大会記事
2012年度大会総会記事／明治維新
史学会 役員・委員名簿
〈2012年度第42回明治維新史学会大会
討論要旨〉
寺尾美保氏「明治十年代の大名華
族の経営と家政改革―島津家を
事例として―」 藤田 英昭
人見佐知子氏「芸娼妓解放令」の
公布と近代公娼制度への道」 横山百合子
徳永暁氏「神道国教化政策下にお
ける神社の実態―教導職期にお
ける大宮氷川神社と周辺神社の
動向を中心に―」 長南 伸治
滝島功氏「地租改正事務局の基礎
的研究―「東北地方地租改正資
料」―」 牛米 努
久保田哲氏「元老院の政治史的再
検討」 柏原 宏紀
大会運営委員会だより／例会運営
委員会だより／会誌編集委員会
だより

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363
年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇231 2012.10 A4 28p
小田原宿と浮世絵―貧しいコレク
ションから 杉山幾久(幾一)

小田原大秘録(巻一から巻三まで
の読み下し文) 第二回巻一の二
鳥居泰一郎
明治35年9月「小田原大海嘯」と
被害状況 平倉 正
小田原の郷土史再発見 老中・大
久保忠真の人材抜擢と川路聖謨
石井 啓文
史談雑記帳
瓜生外吉海軍大将の胸像 平倉 正
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(14) 鈴木 好
じいさんは「関東大震災被害報告」
の警察官 井上 仁男
関東大震災被害報告(小田原警察
署資料)(1) 震災の一般的な状
況、皇族貴顕の警戒
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
TEL045-364-4456 1994年創刊
www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/
◇28 2012.9 A4 4p
読み仲間をつくろう
記録のリサイクル―公文書館で記
録は生き返る
記録を伝える
企画展示 鉄道がかさねた日々Ⅱ
9月15日～12月16日
Let's Try! こもんじょ 初級2
小塩家文書「往来手形」から
ミニ展示「公文書館資料にみる大
正100年」 10月5日～12月27日

◆神・人・自然 「神・人・自然」研究会
〒259-1132神奈川県伊勢原市桜台2-7-17
◇2 2012.10 A5 79p

《特集 博物館と民俗学》
特集「博物館と民俗学」にあたっ
て 佐藤 智敬
博物館小感 田中 宣一
博物館民俗部門の連携・教育普及
一栃木県立博物館の事例から 宮田 妙子
多摩周辺博物館の民俗関係展示会
と民俗資料―雑誌『多摩のあゆ
み』より 佐藤 智敬
博物館未収蔵資料をめぐる覚書―
東日本大震災にともなう文化財
レスキューの反省から 松田 陸彦
博物館における民俗学の昭和展示
山本 隆晃
書誌紹介
田中宣一著『暮らしの革命―戦
後農村の生活改善事業と新生
活運動―』 亀井 好恵
佐藤智敬編著『府中メモリアル
―記念品から見た地域の歴史
―』 宮田 妙子
篠崎茂雄、宮田妙子編著『那珂
川の漁撈用具』 佐藤 智敬
諸国通信 広沢通信 亀井 好恵

◆クロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円 1979年創刊
◇131 2012.11 B5 6p
家計簿と地域社会―食文化(2) 洪 志 承
家計簿と地域社会―社会生活(2) 張 艶
紋織物と木食観正上人 西海 賢二
受贈図書／研究会活動報告

◆市史通信 横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/housei/sisi/
◇15 2012.11 A4 12p
山下公園の誕生 吉田 律人
資料紹介 団地自治会ニュース 羽田 博昭
1937年の朝鮮・満州視察旅行 百瀬 敏夫
新刊紹介 報告書『横浜の文化人
と戦後復興』 木許 文子
市史資料室たより

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1191
1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇75 2012.10 B5 6p
ユリという地名 谷川 健一
被災地の一年半 宮城県地名研究
会・東北アイヌ語地名研究会 太宰 幸子
清正公生誕450年記念イベント
シンポジウムや歴史散策会
熊本地名研究会
北部九州を襲った台風7.12の体験
紀南・地名と風土研究会会報 第
50号記念号より 台風12号よる
災害と地名 小字地名や微細地
名研究の必要性
創立20周年記念講演会「新潟県の
地名」新潟・蝦夷・東北そし
て災害と地名 長谷川 勲
創立30周年を迎える川崎地名研究
会「災害地名」を軸に
伊賀の国地名研究会
『伊那谷の地名』
一第三輯の発刊に向けて 原 薫
「汗」という地名 桐井 聡男
「小笠原」の島と命名 延島 冬生

◆民具マンスリー
神奈川県立日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
Tel045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇535 (45-7) 2012.10 A5 24p 350円
溜池での漁に見る水田稲作の論理
―鳥取市気高町大堤「うぐい突
き」の事例から 松田 睦彦
道具と俗信 鍋と鍋蓋(3) 常光 徹
アチック・ミュージアムの民具コ
レクション(34) 附木 近藤 雅樹
◇536 (45-8) 2012.11 A5 24p 350円
伊豆諸島利島の女ショイコー大島
・利島の肩縄及び頭縄負子事例
(前) 織野 英史
文化財レスキューと博物館展示―
「朝日稲荷神社の絵馬」展の開
催から 内山 大介
アチック・ミュージアムの民具コ
レクション(35) 樋畑雪湖の妻
楊枝コレクション(2) 木村 裕樹

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
加藤導男方 1984年創刊
◇記念誌 2012.11 B5 100p
《創立30周年記念誌 雄風》
記念誌『雄風』発行にあたって
創立30周年記念式典・祝賀会
会歌 歌詞と楽譜
創立30周年記念旅行 木村 高久
創立30周年記念レポート
特別寄稿 下野国薬師寺創建の
目的は何か 松尾 光
越後長尾氏興亡録 竹村 紘一
推理で楽しむ古代史(2)
継体天皇と辛亥の変 蛭田 喬樹
天皇諡号雑感 藤田 健三
鎌倉幕府の成立と渋谷重国 針 靖人
不比等の出生伝承をめぐって(3)

石川 勝義
発表者紹介(平成23年10月～12月)
大正地区歴史散歩の会 創立30周
年記念祝賀会参加報告 竹村 紘一
第3回所蔵本販売市開催報告 竹村 清繁
他団体での当会役員の講演会報告
横浜歴史研究会思い出の記
横浜歴史研究会に入会して 巴 嘉仁
横浜歴研と私 和田 敏子
入会して二十年―出逢った人々
そして思い出あれこれ 加藤 導男
横浜歴研に入って 前出 郁子
創立30周年記念レポート
舜天と為朝伝説 菅原啓一郎
邪馬台国から倭国・大和朝廷へ
の道程 横山 忠弘
この紋所が目に入らぬか！
―水戸黄門様の遺訓 堀江 洋之
渋谷氏一族の興亡 渡会 裕一
日米修好通称条約の締結と横浜
開港について 荻島 和男
会員のひろば
歴史一口メモ(28)
華族の巻(8) 前部 謙蔵
平成24年度・春の歴史散歩
畠山重忠公終焉の地を巡る
エッセイ
おくのほそ道紀行 高島 治
歴史の宝庫
琵琶湖湖畔を巡る 植木 静山
「歴研よこはま」俳壇
前部謙蔵／竹村清繁／内
山昇／藤盛詔子／高島治
「歴研よこはま」歌壇 竹村紘一／丹下重明
エッセイ 私と四国遍路 齋藤 宗久
追悼文集
大町頼勝名誉会長(初代会長)を
偲んで 加藤 導男

惜別 小林勇君の死を悼む 石関 貞治
遠藤善郎君追悼の記 内山 昇
友は逝ってしまいました
―鈴木英男さんを悼んで 丹下 重明
横浜郷土史団体連絡協議会
第7回定期大会報告
発表者紹介(平成24年1月～5月)
その他行事報告(総会・旅行・歴
史散歩)
横浜歴研30年の足跡
創立30周年記念行事実行委員
会誌掲載の「俳画」について

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会
〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ
前盛明方 Tel025-543-4354 1952年創刊
◇60 2012.9 A5 214p
糸魚川小滝ヒスイ峡の県指定と保
存・開発の問題―天然記念物の
指定手法と文化財行政の在り方
関 雅之
越後介三善為康が就けた同族の板
倉郷郷司 三島 義教
上杉憲政の越後入国時期に関する
一考察 諸井 幸枝
上杉謙信―独鈷と雲と朱の大盃と
土井 重男
上杉謙信七十回の戦績 花ヶ前盛明
越後の蔵王権現と秋葉信仰、飯綱
権現信仰 石田 哲彌
『慶長二年越後国頸城郡絵図』を
読んで一気がついたこと(1) 渡邊 昭二
制定四百年の北国街道 金子 潤次
文政八年高田城下大火の記録 清水 萬蔵
達如の越後下向について(資料提
供) 太田 空賢
高田城の瓦 従来の通説「河波良

神社で瓦を焼き、高田城を築く」
を、「主に福島城の瓦を用いて
築城した」と新説の提唱 吉川 繁
松平光長時代の交通運輸 渡辺 孝行
田口村と田切村との山論 青山 始義
糸魚川市の世界ジオ・パークにつ
いて(2) 土田 孝雄
五智国分寺境内 石碑三話 青山 増雄
栗沢の地で信蓮房と恵信尼公を偲
ぶ 長藤恵一／安原義一
三和区水吉 堂百の首切り地蔵 大坪 晃
アメリカから笠原家に来た手紙
板垣退助から笠原恵あて手紙 小池 昇
日本画家石野東耕のこと 平丸 誠
レポート 教会堂ステンドグラス
に松平忠輝・五郎八姫の肖像画
が 中山富士雄
居多神社文書 花ヶ前盛明

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武
則方 Tel025-231-6100 1935年創刊
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇386 2012.11 A5 51p
越後磐女北限地帯の様態―桐生リ
エ磐女の証言を通して 鈴木 昭英
小報告集Ⅳ 佐藤 和彦
五泉市幅の百万遍行事
―阿賀野川流域の薬製祭具 石本 敏也
垣間見たインドの風俗、民俗、暮
らし 広井 忠男
書評 松崎憲三著『地蔵と閻魔・
奪衣婆』―新潟県内事例を主と
して 鶴巻 武則
柳田賞受賞に寄せて 駒形 魁
新潟県民俗学会創立60周年・柳田
賞受賞記念事業(案)／事務局だ
より

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会
〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2
TEL025-688-5335 1998年創刊

◇15 2012.11 B5 174p
巻頭特集 亀田鵬斎 山口 冬人
良寛と亀田鵬斎傑作選
巻頭図版解説
既刊号総目録
阿賀野市の親鸞伝承と遺蹟 旗野 博
『相馬御風宛書簡集』について(7)
一会津八一 金子善八郎
ひびき合う心
吉野秀雄と投稿者の交流 萩原 光之
橘屋蔵書について 本間 勲
諸橋轍次の父諸橋安平(嵐陰)と外
祖父巻梧石の画業について 羽賀 吉昭
秋山好古陸軍大将・小伝 山森 勲
井上文昌の出自について 斎藤 倫示
會津八一関係の最近情報 池内 力
漢詩人としての阪口五峰
一竹を題材とした詩について 田 春 娟
著述家・坂口五峰(1) 帆刈 隆
佐藤哲三の絵を巡って 鈴木 仁
越後柏崎の寺社額、石碑、看板等
について(1) 高橋 克英
京極為兼と寺泊 三膳 一徳
王治本 越佐の旅 およびその間
の詩文交流—明治16、7年を中心
として 柴田 清継
近世以降の書流文芸史 岡村 鉄琴
会員の関係する平成24年の活動よ
り・平成24年受贈図書

◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6830 1968年創刊

◇68 2012.10 A5 57p 1000円

赤澤計真先生を悼む 松本 彰
越後代官馬場新右衛門の支配と役
所 本山 幸一
近世新潟町における微地形分布と
町の変遷 菊地 真
動 向
2012年度歴史地理学会第55回大
会 公開講演会「佐渡の歴史
的景観と世界遺産」 堀 健彦
第40回古代史サマーセミナー 伊藤 聖登
書 評
木村康裕著『戦国期越後上杉氏
の研究』 片桐 昭彦
原直史・池田哲夫・長岡市立中
央図書館文書資料室編『山古
志の文書と民具』 伊東 祐之
第61回新潟史学会研究大会・総会
記事／2011年度卒業論文・修士
・博士論文題目／受贈図書雑誌
等目録

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇97 2012.10 B5 20p
巻郷土資料館友の会17回総会講演
会 巻館を見直す 亀井 功
夫婦の同姓と別姓について一考察

新潟県人は枝豆が大好き 笹口 孝明
館柳湾について「新事実」 山上 健
巻菱湖の鵬斎入門 磯島 達典
巻郷土資料館だより

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇138 2012.10 A4 20p
良寛遺墨解説(96)
「宿柳津の香聚閣」 加藤 僖一
良寛尊像つれづれ(100) 良寛座
像(作者不明 脱活乾漆像 良
寛記念館蔵)、貞心尼立像(西
岡勝代作 桐塑人形 良寛記念
館蔵)、貞心尼座像「語らい」
(小島ミエ作 紙塑人形) 涌井 茂
折々の良寛(27) 第35回全国良寛
会総会岩室大会 長谷川義明
平成25年度(第36回)全国良寛会岩
室大会「予告」
全国良寛会柏崎大会
遥かなる海辺の町へ 田村甚三郎
「日本笑い学会」総会・研究発表会
良寛の笑い—癒しの笑い 高橋 玲司
良寛の楷書は、中国楷書の基準を
超えている(4)—その美は、「1/
f ゆらぎ」から生まれている 長谷川洋三
良寛 さ牡鹿の和歌 素描 吉田 福恵
大正十一年九月十六日 良寛堂建
立式の日—耐雪の「用留」を読
む 反町タカ子
遍澄「良寛画像」顔合せ
今に良寛さんの姿を伝える 藤田 正夫
二松学舎大学「源川彦峰ゼミ」合
宿 中国文学科源川ゼミ(書道)
学生26名が合宿で金屏風の揮毫
に挑戦 源川 彦峰
良寛と堀文子さん 大矢 良廣
小田原から発信した「良寛こころ
のうた」展 小田原良寛会 岩城 葉子
日報趣味の会「良寛をあらく」開
催される 加藤 僖一
良寛の勉強会 百回を終了 加藤 僖一
良寛さまと妖怪 高橋 郁丸
『良寛はアスヘルガー症候群の天

才だった』を執筆して 本間 明
新刊紹介 『自由訳・方丈記』新
井満著／『良寛はアスベルガー
症候群の天才だった』本間明著
／CD『組曲 良寛さん』
会報・会誌紹介／新入会員のご紹
介／「良寛さんに親しむ展」プ
レイベントも盛大に

◆甲斐 山梨郷土研究会
〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場
1566 帝京大学山梨文化財研究所内
TEL055-263-6441 1961年創刊

◇128 2012.11 A5 67p 1000円
明治期農村における古着流通の一
例—新津儀重家『古着商明細帳』
より(下) 新津 健
続 甲斐御嶽山金桜神社の社家—
主に江戸中・後期に於ける年寄
りの役と社内秩序について 太川 茂
研究ノート
南方熊楠と『甲陽軍鑑』 一條 宣好
探偵小説家木々高太郎の現代小
説「文学少女」 堀内万寿夫
資料館紹介
浅川伯教・巧兄弟資料館 澤谷 滋子
郷土の本 『猪の文化史 考古編
・歴史編』を読む 小野 正文

◆MARUBI
富士吉田市歴史民俗博物館だより
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp

◇39 2012.10 A4 8p
富士山あれこれ 武田信虎判物
(上吉田—秋山家文書) 堀内 亨
博物館Report 富士山御師外川
家に泊まった人々(後・2)—『富

士の道の記』の紹介 菊池 邦彦

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇60 2012.10 A4 4p
第10回飯田市地域史研究会集会を
開催しました 学校と地域の過
去から現在に学び、そして未来
を考える／特集「地域と歩む教
育の歴史―飯田・下伊那の学び
の場から―」／研究報告と関連
展示

新刊案内 飯田・上飯田の歴史
上／2012年度飯田歴研賞受賞
奨励賞 論文「近世村落の成立
過程についての一考察―伊那郡
伊久間村を中心として―」塩澤
元広さん、奨励賞 著書「書き
残された和合史」宮下金善さん
・澄子さん／退職の御挨拶 研
究員 池田勇太

座光寺公民館で地域史講座を開催
しました／定例研究会／飯田ア
カデミア2012 第66講座／飯田
アカデミア2012 第67講座

『飯田・上飯田の歴史』刊行事業
より 下巻 近代～現代「大平
の廃村」が意味するもの 清水 迪夫

歴研ゼミナール／歴史研究所の催
事スケジュール／歴研日誌

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇1013 (60-10) 2012.10 A5 50p 500円
《自然特集》
口絵 ハナモモ 北城 節雄

自然科学の窓からみた飯伊の温泉

花桃の由来 竹村 元志
「清内路はなもも」発祥の木 中垣 啓成
飯田・下伊那地方のサンショウウ
オ 桜井喜美夫
小椋 吉範

サンショウウオ余話
生きた化石が天竜川にすむ？ 石井半杏生
最近かわってきた？ ツキノワグマ

宮下 稔
野鳥雑記(3) ムクドリのみく 原田 望
松尾の段丘崖(グリーンベルト)の
植生 北上する常緑広葉樹林 北城 節雄

◇1014 (60-11) 2012.11 A5 50p 500円
口絵 三人の原田島村 原田 望
「伊那」復刊60周年記念大会 記
念講演『近代下伊那史の視点』上条 宏之
伊那復刊60周年記念大会 次第

第1部 『伊那』復刊60周年記念大会
記念大会 主幹挨拶 原田 望
講師紹介 今牧 久
ご講演への謝辞 山内 尚巳

第2部 『伊那』復刊60周年記念大会
主幹挨拶 原田 望
物故者追悼 宮澤 恒之
来賓祝辞 牧野光朗／下平隆司
／原董／関谷邦彦

第3部 記念祝賀会 お祝いの言葉
吉澤健／中島正韶／
伊原壽昭／木下俊佐

『伊那』60年のあゆみ
『伊那』復刊60周年記念大会祝賀
会参加者

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円

◇669 (56-10) 2012.10 A5 40p 500円

《民俗特集号》
地方における青年会の歴史とその
意義―伊那市手良地区を中心に
して 北原 明

伊那の犬房丸とそれを伝えた人々
(4) 唐木 聡

中川村桑原漆ヶ窪の民俗 伊藤 修
仮面土偶の系譜(3)―土偶は何か
為につくられたかの再検討 田中 清文
随筆 鶴亀不在、高砂の館 安田 新
連作短歌 小綬鶏 有賀 功

高山の植物(3) 高山植物の代表
エーデルワイス 田中 茂

文化短信 五年生の時の、悲惨な
三六災害の体験(中川村桑原) 渋澤日出子
考古あれこれ(18)
荒神山と周辺の遺跡群を巡る 赤羽 義洋
師匠の背中(2)より(48) 祭り 若林 徹男

◇670 (56-11) 2012.11 A5 40p 500円
《井月特集号》
鶴の聲―放浪俳人 井上井月 矢島 太郎
伴い、恵む一時代と風景のあわい
で―映画『ほかいびと 伊那の
井月』を観て 春日 聡

映画「ほかいびと―伊那の井月
―」に寄せられた言葉(3) 井上井月顕彰会
自然と一つになった詩人井月
ベアル・ジュリアン

井月の出自について 北村 皆雄
『伊那路』に寄せて 小田切なつ子

地方における青年会の歴史とその
意義(2)―伊那市手良地区を中
心にして 北原 明

高山の植物(4)
もう一つのエーデルワイス 田中 茂

古文書の窓(108) 旧高遠藩主南
福地村神社宛甲冑寄進状 牛山 喜文
師匠の背中(2)より(49)

一粒の米 若林 徹男

会員の編著書紹介 復本一郎編
『井月句集』、松尾修著『竹澤長
衛物語』

◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊

◇90 2012.9 B5 12p
坂部の冬祭りのたいきり面／天龍
村坂部の集落 櫻井 弘人

柳田国男記念伊那民俗学研究所の
これから―所長就任にあたって
福田アジオ

伊那谷の四季〔秋〕 豊作を願い
大風を除ける「風祭」 北原いずみ

報告 柳田国男没後50周年特別講
演会と大平・清内路フィールド
ワーク 高橋 寛治

飯田大火を経て受け継ぐ伝統の技
―松岡屋醸造所の醤油づくり 今井 啓

柳田国男の『信州随筆』研究(22)
木曾民謡集 小林 多門

伊那近代思想史研究会(33) 3度
目の挑戦―『伊那思想史(稿)』
刊行に向けて 松上 清志

研究所部会活動案内／事務局だ
より／美博日より

◆信 濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp

◇753 (64-10) 2012.10 A5 88p 900円
出土軒瓦から考察した信濃の古代
寺院―7世紀後半から8世紀代創

建の寺々 倉澤 正幸
 小笠原氏内訌についての一考察 花岡 康隆
 鏡女王伝承を推考する(中) 石川 勝義
 研究ノート 妙高山頂の一等三角
 点と妙高山の標高 小島 正巳
 史料紹介 高野山蓮華定院『真田
 御一家過去帳』(上) 丸島 和洋
 随想 地方史研究と私「わらじ
 史学」の実践者一井出正義先生
 の研究姿勢に学ぶ 島田 恵子
 追悼 赤羽篤先生を偲ぶ一敬愛さ
 れたお人柄と豊かな実績 伊藤 一夫
 ◇754 (64-11) 2012.11 A5 88 900円
 二・四事件以後の信州教育素描 伊藤 純郎
 武田氏滅亡後の室賀氏の動静と真
 田昌幸一屋代秀征の動きも合わ
 せて「室賀謀殺」に至るまで 寺島 隆史
 鏡女王伝承を推考する(下) 石川 勝義
 何故、外国人は日本のスキー場に
 来るのか一知られざるその特異
 性 江川 良武

◆千 曲 ふるさに学ぶ
 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊
 ◇151 2012.10 A5 85p
 戦後の高度経済成長と地方の工業
 化(2)一東信地方の場合 野澤 敬
 丸山清俊と蓮華定院古文書写 児玉 卓文
 宝暦騒動と農民一小牧村の場合 宮島かつ子
 蚕神馬鳴菩薩 丸山 正俊
 平成24年度重要文化財指定 国友
 一貫斎製作の反射望遠鏡調査報
 告 渡辺 文雄
 地区だより(南佐久地区・上田地
 区・更埴地区)

写真真と解説 川柳將軍塚古墳 牧 忠男

◆長野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇285 2012.10 A5 48p 500円
 口絵 飯田市光福寺蔵「孝子善之
 丞感得絵伝」
 新出の「孝子善之丞感得絵伝」
 一飯田市光福寺所蔵本の紹介 織田 顕行
 熊野の一光三尊石仏と忍定行者 内山裕紀子
 遠州流挿花と信州
 一『挿花衣之香』から 村上 昭彦
 長野県魅力発信ブログ「じょうし
 ょう気流」寄稿のうらばなし 三浦 悟
 小林計一郎の原点(12)
 渡辺敏先生伝(10) 小林計一郎
 絵解きして二十年
 小林玲子のDVD完成
 出版『南高田伝統文化誌』南高
 田伝統文化誌編集委員会編、『武
 田騎馬軍団秘史』依田武勝著／
 私たちの会のあゆみ／クイズに
 挑戦
 長野市の二人が京都で絵解きを実
 演

◆長野県民俗の会通信
 〒390-0851長野県松本市島内3427-45
 小原稔方 年5000円
 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
 ◇232 2012.11 B5 8p
 明治14年の鎮守の森の姿
 細井雄次郎／三上光一
 平成24年度長野県民俗の会総会 事務局

◆ふきはら ふきはら文化の会

〒399-4603長野県上伊那郡箕輪町三日町
 2243 TEL0265-79-1601 2009年創刊
 ◇15 2012.10 A5 101p 500円
 天竜川の水の一滴(2) 大槻 武治
 孫に向かってひとり言 毛利のりお
 思い出す事など 近藤 光也
 てるてる坊主の唄 西村 重治
 太陽光発電・エコキュート 事始
 め 春日 正明
 ああ、かの夏よ 藤田 隆美
 天竜をうたう 井澤 通治
 川柳まんが 橋爪まんぷ
 私俳句 奥原 孝雄
 自選百句(4) 近藤山潤子
 HAIKU(4) 岡 久幸
 三国跳び歩き 岡 久幸
 古寺探訪 原 孝壽
 「栄村応援ツアー」に参加 荻原 弥生
 昔ばなし(2)を読む 小田切藤彦
 大原ハチミツ 大槻 武治
 子ブナのほうけん(2) 小沢さとし
 昔話「粋な大岡裁き」
 夕顔観音像と高遠「樹林寺」

◆岐阜市歴史博物館だより
 〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
 岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
 ◇82 2012.11 A4 8p
 「祈り」加藤東一
 企画展「ちょっと昔の道具たち」
 2012.12.14(金)～2013.3.3(日)
 特別展示「岐阜の年中行事一受け
 つがれる祭りー」2013.1.4(金)
 ～3.3(日)
 企画展「タイムスリップ!大むか
 しのくらしー岐阜の夜明けー」
 2013.3.26(火)～5.6(月・祝)
 加藤栄三・東一記念美術館「加藤

栄三・東一 所蔵作品展」
 2013.1.22(火)～4.21(日)
 博物館ニュース 入館者250万人
 達成!!／新刊図書紹介『図録信
 長』／分館 加藤栄三・東一記
 念美術館の展示、特集展示(2
 階総合展示室内)、分室 柳津
 歴史民俗資料室の展示
 研究ノート 本能寺の変後の織田
 信孝の花押 土山 公仁
 館蔵資料紹介 豊臣秀頼消息 正
 月十八日付 岐阜市栄昌院蔵
 (当館寄託) 折紙 江戸時代
 本紙 縦42.2cm、横62.2cm

◆遠州民話の会通信
 〒432-8014浜松市中区鹿谷町1-10
 TEL053-455-0098 1999年創刊
 homepage3.nifty.com/enmin/
 ◇17 2012.10 B5 8p *終刊
 伝承地を歩く(17) 桜ヶ池(現
 静岡県御前崎市佐倉)
 語る 語ると演じるの14年間 杉山 健造
 湖南荘にて 宮崎 洋子
 日本昔話学会 2011年度全国大会
 にて 鈴木 亨
 特別寄稿
 僕のささやかな民話体験 小野 忠明

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
 民俗文化研究所
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532
 TEL0538-32-3546 2007年創刊
 www4.tokai.or.jp/child-c.j/
 ◇65 2012.10 A4 4p
 真如堂の引声阿弥陀経会 吉川 祐子
 寄贈資料紹介
 ◇66 2012.11 A4 4p

真如堂のお十夜念仏 吉川 祐子
報告／寄贈資料紹介

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室 年4000円

◇409 2012.10 B5 4p 200円

10月総会記念講演会 羽賀祥二氏
「災害犠牲者追悼と歴史学の立
場」に寄せて 村瀬 隆彦
市原正恵さんを偲んで 肥田 正巳
静岡県近代史研究 第37号 目次
例会のお知らせ／静岡県史編さん
開始

◇410 2012.11 B5 6p 200円

11月例会レジュメ 近世後期にお
ける駿府の郷宿と地域社会 岡村 龍男
第35回総会結果報告
新刊紹介 塚本学著『塚本明毅』樋口 雄彦
市原正恵さんを偲んで 鈴木 雅子
新入会員紹介／訃報／例会のお知
らせ

◆静岡民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
松田香代子方
homepage3.nifty.com/s-folklore/

◇145 2012.10 A4 4p

11月例会のご案内／第6回卒業論
文発表会・相談会
御殿場の吾妻祭 松田香代子
シリーズ食(22)

玄米と精白米(3) 外立ますみ
博物館情報／受贈資料・刊行物紹
介

◆静岡歴史研究会

静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55

篠原旭方 TEL054-286-8659

◇135 2012.11 B5 16p

藤原・豊臣栄華の地へー6月24日
(日)・25日(月) 宇治・伏見桃
山 洛南めぐり 一泊二日史料
見学会 大川 誠一

9月2日(日) 第97回研究会

林、遠藤、佐藤各氏発表
林浩三氏の「幕末の長州のお殿様
毛利敬親 あだ名は“そうせい
公”」の概要／遠藤徳明氏の「日
本の翡翠と古代翡翠文化」の概
要／佐藤吉男氏の「静岡県の義
民の伝承」の概要
晩秋の11月4日(日)、庄内半島を
散策した 忘却の史跡の郷・村
櫛庄へ 日帰り史跡めぐり 大川 誠一

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇236 2012.11 A5 25p

熱田社の和歌と文学(37)
一飛鳥井雅有の場合 八木意知男
近代における熱田神宮の造営(後)
飛岡 秀樹

社頭だより／お知らせ／熱田神宮

創祀千九百年を記念して古鏡五
十五面を献納／お知らせ／日誌
抄

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4
川合正治方 TEL0566-76-6638 1993年創刊

◇38・39 2012.11 B5 107p

《20周年記念号 20年の歩み》
20年の歩み 川合 正治
研修旅行と調査などの一覧

御田扇祭 渥美 精一
大森さんの出会いと当時の世相 川合 正治
南吉が見た民俗 近藤由美子
消えて行く旧道見聞雑記(1) 加藤 研一
花の塔 榊原 信寛
ありのままの日本人・新美南吉 斎藤 卓志
大正村・岩村城を訪ねる 川合 正治
民俗二昔 阿部 健

再掲載する会報の記事

安城民俗談話会会則

(平成4年11月制定)

安城民俗談話会会員名簿

(会発足時)

なぜドブロックにこだわるのか 河村 和男
はるかなる遠山郷と霜月まつり

阿部 健

京都大学敷地内発掘文化財見学

の旅 榊原 啓修

(遺稿) 就農隊員の奥さん 甲原恵美子

笑顔の甲原恵美子さん 斎藤悦子・卓志

布川の花祭り 近藤由美子

はるかなる山の郷南信州を訪ね

て 川合 正治

台湾平溪郷の天燈 斎藤 卓志

今ある平和は！ 近藤由美子

木曾路を訪ねて 渥美 精一

『字名・あれこれ』 阿部 健

信州駒ヶ根・伊那の旅 松元美紀子

陸軍演習と宿営 渥美 精一

綾渡の夜念仏 近藤由美子

カヤ配り(嫁菓子) 榊原 信寛

若狭路おばまを訪ねて 加藤 研一

「安城民俗」№30発行に寄せて 川合 正治

百観音巡礼 阿部 健

消えた小学生の年中行事 榊原 信寛

安城・西尾の方言 川合 正治

書くことの苦楽 斎藤 卓志

春日井の文化財めぐり 渥美 精一

ニウケ(荷受け)の話 阿部 健
秋の研修旅行(西尾路) 鈴木 厚子
校名・あれこれ 阿部 健
この人たちの死は戦死 榊原 信寛
煮味噌 近藤由美子
地名あれこれなし 加藤 研一
忘れ難き話者の方たちと麦酒祭
の宮守・武村勝治氏 河村 和男
秋の研修(知立地区)旅行見聞記

加藤 研一

環濠屋敷の大石家と菅江真澄 川合 正治

各年度実施計画の報告 平成16年

度／平成17年度／平成18年度・

19年度／平成20年度／平成21年

度／平成22年度・23年度／平成

24年度

本の発行『聞きがき榎前』の発刊

について

『聞きがき榎前』を読んで 岡田 武敏

『聞きがき榎前』を読んで 近藤 正俊

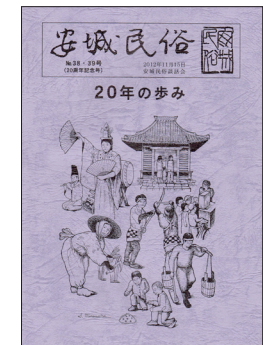
『かや、榎、カヤ』

一嫁菓子に関わる民俗

三河・尾張・美濃の鎌倉街道伝承

地 川合 正治

談話会活動記録



* 安城民俗懇談会は平成4年11月8日の発足
で、20周年を迎えた。この日は、地域の安城

公民館における1年間を通しての連続講座「ふるさと安城の民俗」の受講者による卒業旅行「熊野古道に行く」の出発の日であるという。20年の歩みを見ると、この間、近くは県内東栄町の花祭りや東海道松並木から、三河出身の菅江真澄終焉の地である秋田県角館、宮本常一のふるさと山口県周防大島まで、毎年1回から3回ほど民俗に関わる様々な場所を巡検しており、そうした旺盛な行動がこの組織の特徴となっていることが分かる。20周年特集号では、これまで会報に掲載されたフィールドワークなどの記録を中心に再録し、活動の軌跡を振り返っている。また、古老などから聞き書きした『職人ひとつばなし』（平成9）、『聞きがき東端』（平成12）、『かや、榧、カヤ』（平成21）など、失われ行く地域の記憶を6冊の記録集にまとめていることは大変に意義深いものがある。会員数は20名に満たないとのことであるが、会報の年2回刊行維持も頭が下がる。さらなる継続を祈念するものである。

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880 1966年創刊
◇94 2012.11 A5 76p 500円
つぶて浦 中村 祥
天皇・皇后両陛下が南知多町に行
幸啓された第11回全国豊かな海
づくり大会 内田 恒助
緒川水野氏(東浦)と常滑城 村田 修
弥次さん喜多さん 大野へ潮湯治
にける「郷中知多栗毛」 永田 久則
京都人質八ヶ月の幼年藩主(1)
一尾張藩青松葉事件始末 木原 克之
宮戸松齊著作『尾張名所圖繪』—
知多郡の内容を中心に(明治～

大正初期の図会・写真集紹介)
永田 文夫
知多地名譚(1)
『愛知県地名集覧』 加藤喜代吉
郷土の古道・史跡の再発掘を目指
して 大岩 隆
兵隊(3) 河合いずみ
南十字星(4)
ハルマヘラ島従軍記 内田 白花
平成24年度 美浜町野間における
総会並びに研修会 廣重 弘和
城山の赤松／神風ヶ浜
南知多町誌
南知多の人 内藤楚山 中村 祥

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市中区徳川町1001
TEL052-935-2173 1980年創刊
housa.city.nagoya.jp
◇85 2012.10 A4 12p
平成24年10月6日(土)～11月11日
(日) 展示室1・2 徳川美術
館 徳川美術館新館開館25周年
徳川園80周年記念 秋季特別展
徳川将軍の御成
平成24年11月17日(土)～12月13日
(木) 展示室1 尾張藩の学問
と教育／源氏物語の世界
平成25年1月4日(金)～2月11日(月
・祝) 展示室1 大名と鷹狩
／展示室2 名護屋城下図
平成25年2月14日(木)～4月7日
(日) 展示室1 ひなの世界／
展示室2 図絵図
徳川園80周年特別企画
尾張徳川家大曾根邸と徳川園 原 史彦
表紙 亀鈕銅印 印文「明倫堂図
書」 5.7×2.4×3.3cm

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇562 (52-6) 2012.11 B5 8p 600円
新刊紹介 銀鏡神楽一日向山地の
生活誌 濱砂武昭著・須藤功写
真／東京都の民俗芸能—東京都
民俗芸能調査報告書 東京都教
育委員会編著
神楽こぼれ話 高瀬美代子
菅生の組立舞台(1) 北河 直子
表紙写真のことは 家串若宮神社
秋祭り／民俗芸能学会24年度大
会
12月のまつり／1月のまつり

◆民俗と風俗 日本風俗史学会中部支部
〒465-0064名古屋市中東区大針1-204
衣の民俗館 TEL052-701-7568 年5000円
◇23 2012.9 B5 300p
《高橋春子館長追悼号》
短歌 小西八千代／斉藤芳子
特別寄稿 高橋春子先生と私 片山 武
「妙意もの語」にみられる地侍 岩
協氏の様相 窪 佳世
近代日本における女子通信教育の
一考察—大日本女学会の創立と
『女学講義』刊行について 遠山 佳治
豊田市における女性用労働着の変
化と地域性 高橋 知子
車番役の終焉—尾張・下小田井・
泰亨車の場合 半田 実
縄文土偶の役割 横井 國人
現存する山国隊士の東征装束につ
いて 浅川道夫／前川康貴
続「日本文化の四極性」試論 林 和利
千枚接ぎの半天について 田中 史子
「をがたまの木」考—故 高橋春子

先生のご霊前に捧ぐ 丸山 竜平
ある知英仏蘭西人 永井 義雄
現代語訳『高須旧記』 高橋 明夫
欧米文化圏音楽初心者向け狂言教
材の研究—「三本柱」を中心に
ウィリアム・ペトルシ
ヤック／飯塚恵理人
中華人民共和国建国後の服飾の変
遷 乗松佳代子
手芸用語に関する考察—ネーミン
グと人に関する用語について 大塚 有理
パッチワーク考 乾 淑子
人形浄瑠璃文楽における役柄と衣
裳—「義経千本桜」の狐忠信を
中心に 清水久美子
随 想
いっぱい、いっぱい、ありがと
うございました 中村 悦子
春子先生との出会い 伊藤 安子
わが恩師 永井 義雄
高橋春子 年譜 高橋 義雄
『民俗と風俗』総目次 『研究紀要』
(創刊号～第13号)、改題『民俗
と風俗』(第14号～第23号)

◆織豊期研究 織豊期研究会
〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577
三重大学教育学部 日本史研究室内
TEL059-231-9218 1999年創刊
◇14 2012.10 B5 103p 1400円
太閤検地の土地把握と計算・記述
能力(上) 今野 真
小山評定の再検討 本多 隆成
ノート 宇喜多騒動の再検討—
『鹿苑日録』慶長五年正月八日
条の解釈をめぐって 石畑 匡基
史料紹介
木下藤吉郎に宛てた昭元の書状

について一元亀年間の京都の
政治状況 満田 雅
京都府長岡京市に残る豊臣政権
関係の史料三点 馬部 隆弘
書 評
久保田昌希編『松平家忠日記と
戦国社会』 小川 雄
竹井英文著『織豊政権と東国社
会―「惣無事令」論を超えて―』
谷口 央
津野倫明著『長宗我部氏の研究』
川島 佳弘
活動報告 事 務 局

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462 1978年創刊
◇235 2012.9 B5 16p 300円
平田篤胤と風土記
―『古史徴開題記』を中心に 近藤左知子
春澄治子覚書 多田 圭介
『通溝』巻上の池内宏自筆原稿
―広開土王碑研究の一齣(3) 荊木 美行
いにしへの伊勢(14)―絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

◆三重県史研究
三重県生活・文化部文化振興室
〒514-0006三重県津市広明町13
TEL059-224-2057 1985年創刊
◇27 2012.3 A5 162p
口絵 多葉粉座関係文書
鷹狩による統治効果―特に吉宗が
引継いだ紀州さんの鷹狩 井上 正秀
明治初年の桑名城下と地域振興策
―三崎家文書「公私有留記」に
見る桑名春日神社境内の遊興地
化計画 水谷 憲二

続・同人誌「伊勢文学」について
―1943年の場合 藤田 明
資料紹介 「木本連中狂歌集」
―「熊野」という地域 曲田 浩和
『三重県史』資料編「近世1」第
四章「藤堂高虎発給文書」正誤
表
藤堂高虎関係資料一覧
市町村史編さんの動向
『伊勢市史』考古編、古代編、
中世編 大道 弦
『ITを利用した亀山市史』 平形 義朗
『玉城町史』近世史料集 第六巻
小林 陽

寄贈図書一覧／県史編さん日誌(抄)

近 畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369 年2520円 1977年創刊
www.shiga-bunshin.or.jp
◇141 (36-4) 2012.10 B5 92p 600円
《特集 あきの田の…百人一首と滋賀》
滋賀と百人一首競技かるた 石沢 直樹
百人一首の中の滋賀 吉海 直人
彦根かるたと滋賀の郷土かるた 藤野 滋
かるたを楽しむ
大津あきのた会 増田 勝治
滋賀県立膳所高等学校かるた班
平尾 勇人
日野三笠会 奥本 敏雄
滋賀県内で開く全国大会
時雨殿 嵐山にある百人一首の殿
堂・時雨殿
インタビュー・湖と生きる(3) か
るたのクイーンを目指す 本多
恭子さん 植田 耕司
四季をめぐる健康食 秋編 みんな

なで食べる秋いっぱいのお弁当
小川 久子
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(7)
木之本・余呉の古寺 加藤 賢治
談話室(10) 星空の魅力 高橋 進
トチノキの里で考える(3)
トチノキの紅葉 青木 繁
いまどきの“元氣なお寺”見聞(5)
草津市洪川1丁目 光明寺
辻村琴美／辻村耕司
滋賀文化事情
国際芸術祭 近江八幡、五個荘
の町家に7か国のアーティスト
ト競う BIWAKOビエンナ
ーレ2012開幕 編集 室
祝 京阪大津線100周年
その魅力と未来像 辻 良樹
近江人物伝(13) 京極道誉 木村 至宏
カラーグラビア
百人一首の風土 編集 室
郷(さと)紀行 秋 上村 勝美
近江植物記 江南 和幸
三上山風便り 八田 正文
おわび紙と書と言葉(4) 増田 洲明
シリーズ「琵琶湖世界の地域デザ
イン」(4) 多賀「里の駅(プラッ
トフォーム)」の活動が定着 山崎 一眞
湖国藝術紀行(12) 花登筐の世界
西本 柳枝
湖国レディス・アイ(30) 滋賀県
の魅力を求めて県内を自分の足
で歩く 小堀 慶子
北から南から
寺田直子／奈良薫／鈴木強／安部愛
子／源野孝彦／清水貴子／編集室
ニュースの小箱 旅好きの目で県
内観光地を視察 シンガポール
などアジア4国から来県／山頂

付近は禁煙 米原市が伊吹山を
美化条例区域に指定／土偶の面
白さを漫画で表現 MIHO MU
SEUM で「土偶・コスモス」展
歴史文書は語る 県政史料室から
(5) 災害 公文書に残る災害の
記録 東 資子
現代滋賀ブランド(9) ロケ地(下)
植田 耕司
シリーズ 一等三角点の山と私(2)
滋賀では珍しい「観光山」
御在所山 太田 豊三
歴史豊かな西方浄土の山
阿弥陀山 小林 守
外国人が観る滋賀 異文化交流(2)
富田人形 留学生12人が見事な
舞台披露／雨森芳洲庵 釜山か
ら青少年の通信使が訪問／龍谷
大学 手作りのパンフでもてな
し 編集 室

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇98 2012.9 A4 4p
資料紹介 彦根藩士小納戸役就任
誓詞 当館蔵 渡辺 恒一
展示案内 9月～12月 テーマ展
8/31～9/25 展示室1 雅楽器
と銘／テーマ展 9/28～10/23
展示室1 能装束にみる日一井
伊家伝来能装束から／テーマ展
10/26～11/27 展示室1 茶人
井伊直弼と幕末のやきもの／テ
ーマ展 11/30～12/22 展示室
1 人権学習シリーズ10 彦根
藩のさまざまな武士―江戸時代

の社会と身分
催し 第46回彦根城能／刊行物／
スケジュール
研究余録 金亀玉鶴
井伊直弼と楽焼 奥田 晶子

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com

◇589 2012.10 B5 12p 400円
妖怪釜鳴り(釜鳴り現象報告)

一 滋賀県旧余呉町 長谷川博美
「五穀」の史資料について(1) 関 啓司
井伊大老と長野主膳(6)

一 桜田吹雪の悲劇 馬場杉右衛門
近江・源平興亡の残照(2)

一 天吉寺山と源頼朝 馬場杉右衛門
味噌貯蔵の壺について 粕渕 宏昭
標石について

一 京都新京極の誓願寺門前 粕渕 宏昭
白山権現社の再興にまつわる記録

(3)一横浜市金沢区釜利谷地区 大喜多紀明
浜松市の東西南北記 田中 春二
滋賀の石造文化財(中世)の概観に

ついて(26) 福澤 邦夫
松葉酒の製法について 粕渕 宏昭
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き

書き一代記(18) 菅沼晃次郎
◇590 2012.11 B5 12p 400円

添田唾蟬蜂のわからない節につい
て 長谷川博美

「五穀」の史資料について(2) 関 啓司
近江・源平興亡の残照(3)

一 古老の頼朝伝説 馬場杉右衛門
イボ(疣)とり水について

一米原市上丹生 粕渕 宏昭
滋賀の石造文化財(中世)の概観に

ついて(27) 福澤 邦夫
殿様を追慕して随行した寺院(前)
一 兵庫県たつの市・善龍寺 奥山 芳夫
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(19) 菅沼晃次郎

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 1999年創刊

city.kyoto.jp/somu/rekishi/
◇43 2012.9 A4 10p

京都市都市計画事業の一九二一年
前半(上)一河原町通狹築か木屋
町通か 伊藤 之雄

『京都市政史』刊行記念「戦後京
都の軌跡」展によせて一史料『京
都市建物疎開跡地処理計画』の

紹介 川口 朋子
第二巻についておわびと訂正

史料ニュース 戦前の都市計画京
都地方委員会議事速記録などの
公開について／編纂だより

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル
上生洲町221 キトウビル303
TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊

www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/
◇198 2012.7 B5 50p 1800円

大様なる能と世阿弥の協能 重田 みち
中世前期「遊女」の組織とその支
配 辻 浩和

研究手帳 名古屋山三郎の屋敷
一 研究の役には立たない情報 小笠原恭子

紹介 辻浩和「中世前期における
〈遊女〉の変容」／京都市考古資

料館・京都市埋蔵文化財研究所
編『ひょうげた器一三条せとも
の屋出土茶陶一』、茶道資料館
編『京三条せともの屋町』／後
藤静夫編『近代日本における音
楽・芸能の再検討2』

例会発表要旨

明治三年桑名佛眼院能興行につ
いて一京阪能楽師の招来と、
旧藩主への思慕 米田 真理

巫女と神子一近畿地方を中心に
山路 興造

謡曲《花軍》における「伏見の
翁」受容一立花にふれて 家原 彰子

彙 報

2011年度会誌内容／2011年度例会
一覧表／2011年度決算／2012年
度予算案

第7回林屋辰三郎藝能史研究奨励
賞 村上紀夫氏『近世勧進の研
究一京都の民間宗教者一』

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊

www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
◇69 2012.9 A5 104p 1500円

巻頭言 方位データは資料になり
うるか 尾関 章

「任那四県」割譲と韓国の前方後
円墳 鮫島 彰

ワニ考 野田 昌夫
会員ひろば

継体一俱に崩薨す 渡部 正路
アンデス通信(22) 市木 尚利

論文紹介 上川通夫著「ヤマト
国家時代の仏教」 河越 尚司

片岡宏二『邪馬台国論争の新視点』
を読む 中村 修
巻頭言補筆 尾関 章
神興塚古墳 大正11年の石碑建立
に関する公文書 重村 英雄

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊

◇829 (82-9) 2012.11 A5 34p 915円
口絵 平成24年2月例会

京都市東山区円山周辺の文化財
飛雲閣を探して(4) 本願寺文書

に現れた飛雲閣(飛雲亭) 加藤 繁生
日本の塔百選(9) 智恩寺多宝塔 中西 亨
黄檗信仰史(77) 江口 正尊

第974回例会 京都市東山区円山
周辺の文化財 加藤 繁生
九月一泊例会(信州)速報 ニッ柳

方田の多層塔と関屋家墓地の石
幢 矢ヶ崎善太郎

「石造美術勉強会」のおしらせ
石造美術勉強会に参加して 安田 成
関係誌紹介

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
◇727 2012.10 B5 4p

道勘山古墳出土の瓦経について 大槻 伸
◇728 2012.11 B5 4p

平成24年福知山史談会 秋の例会
報告(編集者より) 古道を歩く
芦田精一会員、スリランカの

仏教遺跡 塩見行雄会員(鬼の
交流博物館長)

コラム 「ボストン美術館 日本

の美術の至宝展」見学記 塩見 昭吾

◆丹波 丹波史談会

〒622-0066京都府南丹市園部町南八田の田
37 奥村寛方 1999年創刊

◇14 2012.10 A5 94p 1000円

丹波の災害(第一部)一火災・旱魃
・飢饉・疫病・強訴・一揆 上野 栄二
丹波綾部道路沿線の中世城郭(後)

若江 茂
仁清年譜と生誕地キーワード・条

件九(野々村仁清関係年譜) 野々村美好
上野家の未発表の中世文書 山村 安郎
相給村・森村庄屋文書を読む 浅井 義久

古典のなかの地震災害記述 秋里 悠兒
口丹波(京丹後市・南丹市)地方の

森林と注目すべき材木と地域景
観 奥村 寛

雨乞いの頭巾山伝説 小畑 弘
地質学から見た口丹波

“遠い海からの贈りもの” 河原 信之

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇298 2012.10 B5 14p

鎌倉末期の「春日若宮神主祐松記」
の日根荘史料 廣田 浩治

近世前期の佐野村諸帳簿一土地関
連史料の整理を課題に(2) 井田 寿邦

城郭跡か、普通の坊院跡か、根来
寺の遺跡 白石 博則

◇299 2012.11 B5 14p

蟻通雑記(5) 蟻通の雨乞い 樋野 修司
近世前期の佐野村諸帳簿一土地関

連史料の整理を課題に(3) 井田 寿邦
孝子・高野山城跡を見学

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333
1980年創刊

◇79 2012.10 A5 128p 700円

『松雲公採集遺編類纂』所収「渡
辺文書」について 天野忠幸／生駒孝臣
引合書の成立と展開 野高 宏之

大正期の道頓堀五座と菊池幽芳 相良真理子
近世初期大坂の地子収取と惣代

一新出史料の紹介 上田 長生
O S K日本歌劇団の90年 岡本 澄

みおつくし 北尾録之助 古川 武志
小山仁示先生を悼む 堀田 暁生

「大阪の表玄関」西区一その歴史と
文化を探る一展 古川 武志

新刊図書紹介
吉村智博著『近代大阪の部落と

寄せ場、都市の周縁社会史』松岡 弘之
『昭和の大阪 昭和20～50年

写真一産経新聞社』堀田 暁生
史料収集彙報／受贈図書資料／市

史編纂日誌

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊

blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
◇338 (29-10) 2012.10 B5 8p

浪速今昔百景(20)
法善寺横丁と水掛不動 川村 一彦

平成24年9月(第313回)例会・報告
「浜田城」一松平周防守家と鏡山

事件(女仇討ち) 田村紘一氏／
古文書講座(第134回)「借家住

居につき差入一札」石川道子
先生

9月見学会 平成24年9月8日(土)

豊臣秀吉の夢の跡 大仏殿を巡
るコース 久保 敏博

◇339 (29-11) 2012.11 B5 12p
浪速今昔百景(21) 難波宮跡 川村 一彦

第314回例会報告「大坂城・武家
屋敷・蔵屋敷について」一写さ
れた古写真、絵図を中心に 志

村清氏
会員講座 第8回「古文書解読の

楽しさと大坂町触れからわかる
当時の世相」寺井正文氏 久保 敏博

10月見学会 平成24年10月13日
(土) 兵庫歴史研究会合同見学

会「清盛と大輪田泊の歴史を訪
ねて」 久保 敏博

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇67 2012.9 A5 94p
大塩平八郎論をとらえなおす視点

平川 新
梅岩思想の基層としての陽明学的

志向について 森田 康夫
大塩の乱後の都市復興策

一猫間川と天満堀川の名所化 内海 寧子
大塩政之丞と太田南畝

一平八郎の人脈形成前史 小西 利子
大塩と私(14) 森田康夫氏 久保 在久

飢饉チヨボクレ(天保八年 大塩平
八郎作)について 久保 在久

会計報告(2011年度)
洗心洞通信(55)

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/
◇54 2012.10 B5 95p 1000円

「のぼうの城」と天秀尼の母系
一北武蔵の成田一族 宝賀 寿男

安原貞室の生涯と人物像 安原 繁俊
珍姓のルーツ(19) 中田みのる

真説津軽為信物語(後の2)一大石
内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤

か、時慶卿記の真実 佐藤 博
石田三成と越前の遠戚たち(1) 真野 幹也

薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(2) 浪平 博司

一ノ宮の祭神と神々の系譜(4) 川村 一彦
コラム 奇名変名大集合・変名編

紀平氏 真野 幹也
表紙家紋について

大一、大万、大吉 真野 幹也

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇42 2012.10 B5 8p
文化 家紋が語る先祖の本音 高

澤等(10月3日付 日本経済新聞)
家系研究協議会 平成24年度夏の

例会報告
小村氏蔵書整理状況(続編)

家研協たより／家系研究協議会次
回例会予定／図書出版案内／受

贈図書・資料
珍名さんいらっしゃい(39) 眞野 幹也

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円

◇344 2012.11 A5 10p 200円
多治見の「うながっぱ」 和田 寛
河童短信

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇755 2012.10 A4 12p 300円
吉野の陸・海・空を巡る 石田 成年
初秋の若狭路と古建築 櫻井 敏雄

◇756 2012.11 A4 8p 300円
古市古墳群の成り立ちから 一瀬 和夫
吉野山の絵画資料 池田 淳

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/

◇526 2012.10 B5 22p
摂津 多々部城、滝山城を探訪し
ます(11月・第589回例会)のご
案内

12月・第590回例会の予告／セミ
ナー等のご案内／受贈図書・資
料／城郭ニュース(新聞記事提
供者)

9月・第587回例会の報告
美濃大垣城と城下町 川端 義憲
会員通信

初めて発掘調査現地説明会に行
く 水品 弘樹
大和国の中世城館(2)

石積み有する城郭 星野 直哉
新聞記事紹介

◇527 2012.11 B5 22p
近江 布施山城、大森城を探訪し
ます(12月・第590回例会)のご

案内
平成25年1月(第591回)例会の予告
／セミナー等のご案内／受贈図
書・資料／城郭ニュース(新聞
記事提供者)／編集部より

10月・第588回例会の報告
近江 多喜山城・三雲城・丸岡
城・東丸岡城 森田 又一

会員通信
近江湖南 三雲城鳥瞰図 川端 義憲
聚楽第跡発掘調査の現地説明会

に行く 木下 修二
旗本領の陣屋とその町その村 上田 正和
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇297 2012.10 B5 16p
考古学から見た四・五世紀のヤマ
ト政権と吉備(前)ー吉備の動静

に言及する前に 中司 照世
柏原市の史跡見学(2) 山口 久幸
俳句／11月の市民講演会／11月の
現地見学

◇298 2012.11 B5 18p
考古学からみた四・五世紀の播磨
とヤマト政権 中久保辰夫

9月現地見学 大和飛鳥(西域)の
古墳を訪ねる 小川 滋
俳句／12月の例会／12月の現地見
学

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊

◇67 2012.11 B5 62p
口絵
旧福知山市の石造美術 篠原 良吉
文字青面金剛碑について 奥村 隆彦
建築浪漫随想

一中・近世の神社建築彫刻 東野 良平
毘沙門天閑話 濱田 謙次
日吉大社の大宮橋、二宮橋につい
て 多田 準二

講座 葬制と墓制(2) 奥村 隆彦
受贈図書紹介

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊

◇59 2012.11 B5 4p
摂播歴史研究会三十年のあゆみ 廣瀬 明正
平成24年度研究発表会のお知らせ

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター7階 TEL06-6482-5246
1971年創刊

www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇112 2012.9 A5 193p 850円
グラビア

「大尼崎繁栄双六」(昭和12年)
御園小学校の先進的取り組み
一昭和30年代の挑戦 玉木 雄三

「(勅)尼崎市婦人共励文書」について 宮城洋一郎

史 煙
いま、なぜ学童疎開かー『兵庫
県学童疎開関係史料集成』第
二輯「浜国民学校 石像寺寮

篇」を刊行して 人見佐知子
尼崎郷土史研究会誌『みちしる
べ』50周年記念特集号の発行

よせて 羽間美智子
市民の市史研究 中村 光夫
誌上レファレンス 地域研究史料館
人間魚雷・回天と阪本宣道君のこ
と一統編 阪本宣道君について

寺内 邦夫
史料紹介 昭和11年8月「武庫村
行政総合視察概目答申書」 田中 敦

書評と紹介 宗景正著『開拓民一
国策に翻弄された農民一』 島田 克彦
尼崎市立地域研究史料館所蔵絵は
がきの整理・公開に向けて一画

像情報とリンクしたデータペー
スの構築 西村 豪
日本における「市民文書館」の理
念と実践 辻川 敦

尼崎地域地震津波被害の記録
地域研究史料館

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇535 2012.10 B5 8p
10月行事 マナー講習会 テー
マ・心をかたちに「贈答のマナ
ー」 講師：田野直美

紙の歴史と文化・名塩和紙の里(2) 山下 忠男

『太陽の巫女 倭姫巡幸記』(プロ
ット)(1) 荒木 博子
神宮摂末社めぐり(8) 栗皇子神

社／神前神社(御同座 許母利神
社・荒前神社)／江神社
J R 櫻井線 大和高田→奈良(4) 吉井 貞俊

◇536 2012.11 B5 8p
11月行事 秋季見学会 大阪市立
美術館特別展「北斎一風景・美
人・奇想一」

紙の歴史と文化・名塩和紙の里(3)

山下 忠男
『太陽の巫女 倭姫巡幸記』(プロ
ット)(2) 荒木 博子
神宮撰末社めぐり(9) 堅田神社
／御塩殿神社／豊受大神宮／多
賀宮
J R 櫻井線 大和高田→奈良(5) 吉井 貞俊

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp
◇71 2012.11 A4 12p
巻頭言

進んだこと、変わらないこと 藤田 明良
「歴史資料保全ネットワーク・徳
島」を設立しました！ 町田 哲
神戸空襲を忘れない(いのちと平
和の碑)完成に向けて 中田 政子
広がる支援の輪ー栃木県芳賀町茂
木町旧家レスキュー参加記 添田 仁
2012年度歴史資料ネットワーク総
会・シンポジウム参加記
第7回地域史卒論報告会の記録

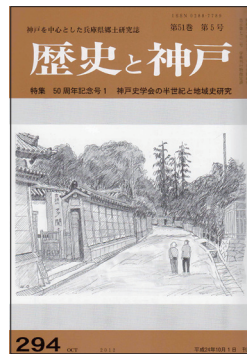
「卒論報告会」を終えて 近藤 育海
「卒論報告会」参加記 市橋なな子
「卒論報告会」参加記 田口 康介
「卒論報告会」に参加して 横山 聡子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇294 (51-5) 2012.10 A5 57p 600円
《特集 50周年記念号1
神戸史学会の半世紀と地域史研究》

『歴史と神戸』創刊50周年に思う

西宮ゆかりの国文学者・若冲 宮崎修二郎
私と『歴史と神戸』の周辺 今井 清一
落合先生の思い出 平岡 正之
『歴史と神戸』五十年のあゆみ 大国 正美
崇神・垂仁・景行の三天皇の实在
性とその山陵について 直木孝次郎
村・寺にのこる近世史料から中世
の満福寺をしのぶ 宿南 保
兵庫県の庭園文化の現状 西 桂
神戸・阪神地域の特性を重層的に
描くー『神戸～尼崎・海辺の歴
史(古代から近現代まで)』 芝村 篤樹
『伊能忠敬測量隊を支えた播磨の
人たち』出版／残暑お見舞い
創刊50周年の特集原稿募集
新聞地域版を読む／受贈図書紹介



*「歴史と神戸」は、昭和37年8月15日、落合重信氏の強い志によって創刊された。その思いと郷土史を学ぶことの意義、神戸史学会の方向性について、編集担当の大国正美氏は、「『歴史と神戸』五十年のあゆみ」で、「歴史は過去を回顧するためのものではなく、未来を切り開くためにあるー落合さんの歴史に対する鋭い問題意識が、市民同友会の面々の共感を得て、いわば市民運動として始まったといえる。」と端的に記している。牽引者であ

った落合氏が亡くなって17年、代表を宮崎修二郎氏に引き継いで50周年を迎えた。

神戸史学会の大きな業績の一つに、地域遺産たる地名研究がある。昭和53年には、小字地名を消滅させる市の住居表示事業を批判し、地名研究に継続的に取り組むようになった。再三地名特集号を組み、別冊『淡路の地名』(武田信一著)の刊行や、『角川地名大事典 兵庫県』などに成果を反映させた。落合氏の最後の仕事も、収集した小字をまとめた『兵庫県小字名集』であった。50年の歴史の中には、深刻な財政難などがあり、現在は編集体制の脆弱さや会員の高齢化、ままたらぬ他地域団体との連携など多くの問題を抱えているという。しかし、『『地域遺産』と『市民』をキーワードに、在野目線の研究、そして時には学術研究の枠に収まらない多様なテーマの発掘を心がけ、雑誌編集や運動を進めてきたつもりでいる。」(大国氏)との認識には非常に重いものを感じる。

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www1.mahorobane.jp/~suihei/
◇15 2012.10 A5 58p
第12回企画展・第15回特別展 全
国水平社創立90周年にあたって

駒井 忠之
第12回企画展「大和同志社と融和
運動ー全国水平社創立前夜ー」、
第15回特別展「水平社運動・部
落解放運動90年の歴史」
2011年度公開講座「大和同志社と
融和運動ー全国水平社創立前夜
ー」 手島 一雄
2011年度公開講座「これからの部
落解放運動をどう考えるか」 伊藤 満

水平社博物館前「差別街宣」事件
全国水平社創立90周年・大和同志
社創立100周年記念事業「おも
いやりショートレター」／各部
門受賞者を表彰

水平社博物館ニュース

2011年9月1日～2012年8月31日
来館者の声／2011年度利用状況

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483
年2000円 1985年創刊
◇50 2012.9 B5 32p
台風12号による災害と地名ー熊野
川・那智川流域の被害を中心に

田中 弘倫
奇絶峡散策 杉中浩一郎
阿戸の獅子舞 吉川 壽洋
備長炭の創始者は誰か 中瀬 喜陽
絵葉書に見る熊野風景百年(2) 中瀬古友夫
追記「ひとつたたら」 堀 敏実
史料紹介 明治二十二年水害記
川添村北谷 小森喜四郎筆 杉中浩一郎
第31回全国地名研究者大会に参加
して 桑原 康宏
新刊案内 杉中浩一郎著『南紀熊
野の諸相』(清文堂出版、定価
8500円)
受贈誌

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
年3000円 1969年創刊
◇143 2012.11 A5 49p
周参見組小川村の年貢収取
ー荒高の多い山村の場合 廣本 満

みなべ町の平家伝説 山本 賢
 早川孝太郎と南方熊楠との出会い 濱岸 宏一
 部落史素描(5) 南部町芝崎地区 農民の小作争議 藤井 寿一
 書評 杉中浩一郎著『南紀熊野の諸相』 笠原 正夫
 郷土関係新刊紹介 南紀熊野の諸相／平成23年度台風12号による災害の記録／近世身分制・身分秩序の諸相／地域から歴史をみる
 文化財ニュース／会合メモ

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
 〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
 江本英雄方 年3000円 1980年創刊
 wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
 ◇63 2012.10 A5 110p
 研究 18世紀後半の高野寺領への越米について(下) 廣本 満
 新刊紹介 海津一朗編『紀伊国杵田荘』(同成社中世史選書9) 弓倉 弘年
 動向 2012年度和歌山県内展覧会情報
 地方史のひろば 川合小梅の画業についての誤認 武内 善信
 総目録 創刊号～60号
 研究余録 紀州ゆかりの人物年表(3) 野呂介石関連年表 安永 拓世
 彙報 和歌山地方史研究会の活動

中国・四国

◆北東アジア文化通信

鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
 TEL0858-26-1811 1994年創刊
 www.cygus.ac.jp/local/asia.html

◇36 2012.10 B5 6p
 私と鳥取県教育史研究と北東アジア文化研究 白石 崇人
 韓国のコンビニ 板倉 一枝
 受贈図書

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0701鳥根県出雲市大社町杵築東455-1 馬庭孝司方 TEL0853-53-1582
 年2500円 1974年創刊
 www.taisha-shiwa-kai.jp

◇172 2012.9 B5 52p
 出雲地域の歴史と文化(3) 一発信! 出雲歌舞伎 渡部 良治
 出雲阿国研究への誘い(4) 阿国がかぶき踊りを始めた年齢は何歳か? 山崎 裕二
 大社の音楽ことはじめ(2) 大社中学校の合唱と吹奏楽 馬庭 孝司
 大社の旅館、大正11年の「出發届」 祝部 幸正

大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る(6) 歴史を受け継ぐ大社町俳句協会 大社町俳句協会
 出雲弁よもやま話 一ようなった直線 村上 清子
 出雲弁川柳 大社中学校
 続 シベリア 春木 芳子

日本海運史料紹介(3) 出雲国驚浦船問屋讀岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴
 平成24年度企画展「戦国大名尼子氏の興亡」 尼子氏人気の一考察 古代出雲歴史博物館
 2012年出雲弥生の森博物館ミニ企画展 出雲を掘る 第3話 うつわを焼く一窖窯と登窯 出雲弥生の森博物館

手銭記念館の四季 江戸力(2)一出雲と和歌 佐々木杏里
 書籍紹介 『川の中の飛行場』が 発行される! 編集部
 読者コーナー 編集部
 「大社史話会 Web site」をご利用下さい! 編集部
 平成24年4月～6月出雲市大社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊
 ◇44 2012.10 A4 10p
 明石行雄について 大西 泰正
 戦国の新兵器鉄砲の出現 市川 俊介
 亀山城跡の岡山市指定史跡指定記念記事
 宇喜多氏の城々(6) 武将直家の居城・亀山城跡(1) 出宮 徳尚
 第4回戦国の貴公子 宇喜多秀家☆ フェス 杉山 真子
 「ウキウキ! 直家出世街道バスツアー」 津下 誠二
 会員サロン 岡山シティミュージアムでの岡山城と宇喜多家の資料展示 小野田 伸
 お知らせ 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円 1986年創刊
 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇127 2012.9 B5 38p
 大國家文書にみる豪農の生活と文化 大森満體像と史料 柳川真由美
 大國家と家相 森元 純一

大國家の相続と圖文化 倉地 克直
 書評 山本太郎著『近世幕府領支配と地域社会構造一備中国倉敷代官役所管下幕府領の研究一』山崎 圭
 参加記 平成24年度岡山史料ネット講演会に参加して 浅野慎太郎

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内
 www.waseda.jp/assoc-okayamahan/

◇68 2012.11 B5 14p
 〈第20回総会の記録〉報告要旨 田沼意次郎の「中御勝手通」一美濃衆東高木家の事例から 福留 真紀
 討論要旨 参加記 福留真紀報告「田沼意次郎の「中御勝手通」一美濃衆東高木家の事例から」を聞いて 深谷 克己
 「勝手通」って何ですか? 福留真紀報告「田沼意次郎の「中御勝手通」一美濃衆東高木家の事例から」を聞いて 竹村 到
 事務局から

◆岡山民俗学会会報

〒700-0062岡山市北区大安寺中町11-17 次田圭介方 年4000円
 ◇209 2012.11 B5 12p
 おたずね 水田割りと小字名について 安倉 清博
 学会記事 臨時役員会
 7月例会報告 7月例会発表要旨 大通寺の伝承と庭園 柴口 成浩
 神楽「將軍」の中国道教の氣

功一NHK「神楽の謎 幻
の舞“将軍”を追って」より
田辺 榮
福武教育文化振興財団助成金贈
呈式、成果発表及び交流会 吉原 睦
9月例会報告 9月例会発表要旨
農業神として溜池に建つ金毘
羅燈籠 野田 和心
備前国における日蓮宗不受不
施派の諸相―御津紙工を中
心に 平松 典晃
11月例会報告
11月例会発表要旨(次号)
書誌紹介(会員によるもの)
石田寛(著)「地理学のすすめ―
卒の地理人生エッセイ」
(2009年・古今書院)、『白寿
を意識するに非ざれど』(2012
年・吉備人出版)／立石憲利
(編著)『真庭市の民話 第一
巻(南部編)』(2011年・真庭
市教育委員会発行)、『真庭市
の民話 第二巻(北部編)』(20
12年・真庭市教育委員会発行)
次田 圭介
書誌紹介(会員以外によるもの)
斎藤忠一(編著)『大通寺庭園』
(2012年・大通寺発行) 次田 圭介
第42回岡山民俗学会賞について
(公募～自選・他薦) 吉原 睦
本会刊行図書等の特別頒布につい
て 安倉 清博

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇127 2012.9 A5 14p
表紙説明 松岡寿『ピエトロ・ミ

カの服装の男』 妹尾 克己
随 想
環境大臣賞を受賞して 小林寿満夫
主役は貴方です！ 山田 信和
岡山の文学碑 藤原審爾 大西 成男
岡山の自然 ふるさと文化財の森
岡山の文化財 旧岡山偕行社 尾上 元規
横山 定
わが町・わが村の自慢 真備ふる
さと歴史館(倉敷市真備町岡田)
ふるさとの思い出
岡崎嘉平太と吉備真備記念碑
文化財団ニュース／催しのご案内
／会員だより／ご案内

◆中庄の歴史 中庄の歴史を語り継ぐ会
〒710-0016岡山県倉敷市1268
◇7 2012.9 A5 96p 1000円
巻頭言 今日本の底流で、一体何
が進行しているのか 臼井 洋輔
随 想
思い出 古谷紀久男
おばちゃんのたこ焼き 大坪 光恵
奉公書を解説して 額田 昭子
中庄との関わり、歴史の重み 内田 武宏
懐かしき再会に感謝 塚本 経重
鴨方往来とK〇パス 高木 範子

2012・夏ニュースハイライト ロ
ンドン五輪へ 荒木絵里香さん
／片山・春川両君 倉商、春夏
甲子園へ
ふるさとを語る 松本 和将
特集 中庄中学校十一年の軌跡
五十三年ぶりの同窓会 青木 政子
思い出の中庄中学校 景山 弘正
平成24年秋期 ふるさと歴史講座
特集 源平の争乱と中庄
「平家物語」に登場する「備中

国万寿の庄」
『平家物語』とその時代
二冊の本に出会って
傍系説話の面白さに目覚める
―平家物語と太平記の間 松尾 華江
備中国の源平争乱余聞 玉島 水
島合戦／連島 梅雲寺／能 藤
戸／京都 醍醐寺「藤戸石」／
妹尾太郎兼康／鳥羽宝幢院 智
久の松
歴史ロマン 義仲と巴が眠る義仲
寺を訪ねて
特別寄稿 中世の女武者―木曾義
仲と「巴」の伝承 苅米 一志
五・一五事件から八十年
宣深僧正と万寿荘 三宅 克広
K〇パスが走ったところの倉敷 在間 宣久
市制記念「倉敷市新地図」に出会
って 田中 正也
書道一直線 桑野清翠さん
養生は食物から
新企画 つつじ山プロジェクトが
始まります
つつじ山を夢見て 田中 陽子
銅山つつじ山の復活に向けて 竹井 皓三
夢の実現に向けて 西田 克己
モスクワ放送局主任アナウンサー
として活躍された清田彰氏を偲
ぶ会 坪井 貞夫
中庄歴史散歩 六間川物語(6)
電車 池内 節光
地名の歴史 辻編 難波 史郎
2012トピックス ひたすらに、ひ
たむきに！―北中学校女子バス
ケットボール部／耐震化の建て
替え工事年内で完了―中庄中学
校
ウォーク&トーク ふるさと紀行

(5) 大寺の巻 倉敷中庄郵便局
皿井 直江
家族の肖像 ふるさと人物群像(5)
清田彰 坪井 貞夫
愉快的田邊流人生！(2) ランプ
ル アイルランド泥炭地帯の野
歩き 田邊 泉

◆芸 備 芸備友の会
〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方 1973年創刊
◇41 2012.10 B5 103p 1000円
《特集 考古学から探る地域相(2)》
「考古学から見た郷土の歴史」
講座の報告
安芸の備後の装飾大刀 新谷 武夫
北塚古墳は横口式石槨か 福島 政文
広島県山県郡北広島町壬生西谷遺
跡の旧石器時代資料について 沖 憲明
広島県における円墳について 桑原 隆博
三原市本郷町西野田火葬墓 福井 万千
中馬ハツ塚5号古墳の測量調査報告
脇坂光彦／安間拓巳
芸備友の会第18回例会「広島県の
埋蔵文化財はいま…Ⅱ」報告
近年の埋蔵文化財をめぐる状況
一市町への権限移譲とその後 妹尾 周三
発掘調査の民間委託 山田 繁樹
「広島県の埋蔵文化財はいま…Ⅱ」
意見交換の概要 芸備友の会
遺跡・文化財の動向(2012年) 芸備友の会

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bing-history.net
◇168 2012.10 A4 20p
論考 足利義昭と備後 田口 義之
郷土探訪

糸崎にもある白糸の滝 中西タイチ
調査報告
北塚古墳の石材さがし報告 篠原 芳秀
御答申上候
福山地域の地神碑について 岡田宏一郎
例会報告
印象深かった歴史講演会「備後
の中世武士団―備後国人衆の
盛衰―」 岡田宏一郎
待ち遠しい「ぶら探訪」 中西タイチ
懐かしの写真館 蛙岩（福山市、
港町公園内） 中西タイチ
山城レポ 能登・末森城探訪 末森 清司
歴史小咄 幕末百話を読む 根岸 尚克
四ツ堂探訪(3) 献灯の習俗が残
る堂 花咲堂(熊野町寺迫) 田口 由実
紀行文 対馬紀行(4) 三好 勝芳
投稿俳句
久松福山城公園を散策して 住田 保夫
おすすめ図書 「ハーバード 白
熱日本史教室」(北川智子 新
潮新書)
おすすめ図書書簡便り 山本 典子
大分便り 釈迦如来坐像由来 後藤 匡史
特別寄稿
事務局の歴史を振り返る 藤井保夫(好玄)
事務局便り
訃報 寺崎氏を偲ぶ

◆**広郷土史研究会会報**
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 ℡0823-71-0706
1998年創刊
◇111 2012.9 A4 20p
呉市海事歴史科学館
大和ミュージアム 上河内良平
大和ミュージアム建設の経緯 小笠原臣也
昭和20年9月17日石内森川水系な

がれの生き証人記録 小早川 諭
呉の『青バス』さようなら 小早川 諭
藤田家文書 第Q章 藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料
(15) 広郷土史研究会古文書部会
広島県郷土史研究協議会(県史協)
呉地方大会計画書 上河内良平
広島県郷土史研究協議会会報合本
仕上がり報告／古文書部会の報
告／例会の主な感想／広島県郷
土史研究協議会賛助会員募集／
例会報告

◆**わが町三原 みはら歴史と観光の会**
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方 ℡0848-62-2935 年3600円
◇259 2012.10 B5 12p 100円
今月の各地 秋祭り 寺迫 保夫
厳島神社と平清盛(4) 大本 静人
三原のあゆみ(2) (芸陽日々新聞
創刊20周年記念誌より)
レキカン諸活動の支援者募集！―
あなたの力を提供してください
鈴木 健次

九州・沖縄

◆**徳島県立博物館ニュース**
〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 ℡088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇88 2012.9 A4 8p
日本のわざと美 北村昭斎 瑞鳥
唐花文螺鈿箱(平成16年 文化
庁蔵) 大橋 俊雄
Culture Club 答礼人形「ミス徳
島」と米国ノースウェスト芸術

文化博物館―徳島平和ミュージ
アムプロジェクト余録 長谷川賢二
第27回国民文化祭・とくしま2012
特別協賛事業 平成24年度企画
展「日本のわざと美」展―重要
無形文化財とそれを支える人々
10月20日(土)～11月25日(日)
情報ボックス 身のまわりの植物
で簡単紙漉き 小川 誠
野外博物館
天海山の二枚貝化石モノチス 辻野 泰之
Q & A 「大阪」と「大坂」は同
じ意味ですか？ 松永 友和
10月から12月までの博物館普及行
事 あなたも参加してみませ
んか？／博物館友の会に入会しま
せんか？

◆**伊予史談 伊予史談会**
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇367 2012.10 A5 47p 715円
宇都宮貞泰の活動について 土居 聡明
蒲生家「分限帳」諸本の基礎的考
察 宇都宮匡児
地域史をゆく
明治が滅した地域の神様 松友 武昭
歴史余話 歴史のゆがみ―聖徳太
子・鑑真の例から 白石 成二
報告 芸備地方史研究会大会への
参加 清水 正史
新刊紹介 山崎善啓著『幕末・土
州松山征伐進軍記録』、佐竹明
著『遺物・遺構・文献を探し求
めて―郷土史への取り組み―』、
山本秀夫著『近世瀬戸内「海」
社会の研究』、津野倫明著『長
宗我部氏の研究』、下向井龍彦

著『純友追討記』、愛媛大学地
域創成研究センター編『地域創
成研究年報』第7号、ソーシ
アル・リサーチ研究会『ソーシ
アル・リサーチ』第37号、南浦朗
著『百姓一揆の風景―文政十三
年「伊方騒動」』 編集部
郷土その日その日 編集部
例会記事

◆**海南千里 土佐山内家宝物資料館だより**
〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26
℡088-873-0406 2000年創刊
www.l0.ocn.ne.jp/~yamauchi/
◇38 2012.9 A4 10p
御侍中先祖書系図牒 江戸時代後
期～明治時代初期 縦32cm
横24.4cm 片岡 剛
土佐藩を動かした人々 渡部 淳
特設展紹介 夏休み恒例「土佐藩
歴代藩主展―土佐藩二七〇年の
歴史と個性あふれる藩主たち
―」(横山和弘)／「土佐藩の人々
―年譜書の世界―」(片岡剛)
／特集コーナー「吉祥」

山内資料館における資料保存活動
の展開 田井東浩平
特設展開連行事報告 「輝く文字
・金泥書 古代書法の復元―福
島久幸氏資料寄贈記念―」展開
連行事 講演会「金泥書復元の
歩み」 尾本 師子
山内家の甲冑(14) 古鎧図(4) 尾本 師子
新研究の手引 歴史系の学術論文
を調べるには 種村 威史
整理と保存(38) 文化財修理にお
ける伝統技術と科学技術―人工
劣化絹 田井東浩平

古文書への招待
 公家の流罪事件と土佐藩 千葉 拓真
 土佐史の人々
 伊達兵部宗勝(1622～79) 横山 和弘
 古文書基礎知識 御内書 清水 邦俊
 土佐の○ 地域とともに 『地域
 連携の試み～「地域記憶プロジ
 ェクト」への協力』 筒井 聡史
 お世話になった人々
 一安芸市土居郷土料理研究会 中屋 真理
 まなびのひろば さわってみよう
 !武器・武具 弓／梅漬けの会
 中屋 真理
 高知城にやまびよん登場 筒井 聡史
 受付だよりー資料館の夏 太平 悦子
 路傍の歴史 五台山からの展望
 高知市五台山 藤田 雅子

◆秦史談 秦史談会
 〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
 方 TEL088-875-6671 1984年創刊
 ◇171 2012.9 B5 64p
 表紙 西国三十三観音 六番石仏
 (中秦泉寺) 松下 政司
 グラヴィア 喜多さん、桂浜龍馬
 像、絵金屏風、深尾墓所清掃、
 雨情・唄、楽水寺跡、同・池跡
 図
 民権ばあさん物語「馬とはちきん
 さん」(最終号)「(こうち童話」
 から) 久米生太子／藤本知子
 秦の昔話 その29 秦の巻(1)
 「寺田寅彦と北山の火事」から
 火の玉のこと「(こうち童話」か
 ら) 永野美智子
 土御門上皇と四国路(2) 溝渕 匠
 桂浜龍馬像のもとになった写真は
 どれか 岩崎 義郎

散歩道(俳句) 西方 郁子
 同志社の新島襄と土佐 広谷喜十郎
 求菩提山、昔在の山伏たち 笹原 保博
 寺田寅彦邸(俳句) 溝渕 匠史
 楠瀬大枝の周辺(4)
 葉神様、ひょうたん池など 和田 豊子
 昭和24年頃の楽水寺跡・池(跡)の
 図 東山 展子
 再改訂版 信念を貫いた土方久元
 の系譜(4)終 土方与志につい
 て 松本 紀郎
 永国先生の「土佐路の野口雨情」
 関連(2)「秦史談」第170号関
 連 溝渕 匠
 戦史13 シベリア抑留日本兵の軌
 跡(2)ーその背景を考える 毛利 俊男
 秦築の絵金(1)
 岡三所神社の屏風絵公開 松本 紀郎
 ともこの昭和時代(17) 川にゆか
 りのある新堀小学校(『土佐の
 民話』市原麟一郎編 から) 藤本 知子
 土佐路の野口雨情(4) 永国 淳哉
 「ローカルジャーナル 秦史談」
 (『高知新聞』より)

◆季刊 邪馬台国 梓書院
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
 ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
 ◇115 2012.10 A5 232p 1238円
 グラビア
 古代年代論の徹底的研究
 巻頭言「年代」は、歴史を構成
 する脊柱である
 《特集 古代年代論徹底批判》
 〈第1部 天皇年代論・統計的年代論・文献的
 年代論の検討〉
 入門・統計的年代論(1) 安本 美典
 回帰分析による古代天皇の年代論

(1) 高木 達也
 天皇の在位年数に関する補論 入倉 徳裕
 〈第2部 炭素14年代法の検討〉
 「科学する考古学」のために「弥
 生遡上論」の総括から学ぶべき
 こと 新井 宏
 結果の解釈は、もっと慎重に!!
 炭素14年代測定法についての徹
 底的検討 安本 美典
 最近の土器と漆の発掘報道雑感 沼野 英久
 考古学は科学か 竹岡 俊樹
 海の民 宗像(2)
 一玄界灘の守り神 太神 美香

◆九州史学 九州史学研究会
 〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
 九州大学文学部日本史学研究室内
 TEL092-642-2375 1956年創刊
 www.2lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
 ◇163 2012.10 B5 72p
 《特集
 対馬藩特集ー主体としての対馬・対馬藩》
 巻頭言「対馬藩特集ー主体とし
 ての対馬・対馬藩ー」によせて
 岩崎 義則
 以酊庵輪番制と東向寺輪番制 池内 敏
 朝鮮国喪期における近世倭館運営
 ー享保五年第十九代朝鮮国王肅
 宗の死を事例に 有田ゆきな
 吉田家の神職支配をめぐる対馬藩
 の動向ー天保期「藤内蔵助上京
 之儀」を事例に 藤井 祐介
 書評 中村尚史著『地方からの産
 業革命 日本における企業勃興
 の原動力』 永江 眞夫
 ◇164 2012.12 B5 66p
 中世日向伊東氏関係文書の基礎的
 研究 宮地 輝和

中近世移行期の国衆一揆と領主検
 地ー肥後国衆一揆を素材として
 大山 智美
 2011年度九州史学研究会大会公開
 講演(後) 織豊期王権の論じ方
 堀 新

◆浜木綿 五島文化協会
 〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
 カメラのササキ内 TEL0559-72-2409
 ◇94 2012.11 A5 130p
 随筆
 若き日々の思い出 小島 清
 私の感動した短歌(19) 佐々木祥一
 宝箱 坂口 進
 五島歳時記 福江城(石田城) 武羅井 高
 なりわいの種
 ーラジオ放送劇収 録の日 石田ちとえ
 それぞれの地域で「ブータン
 の風」を 中里 和彦
 「父と母の教え」から 遠山 富子
 高岳縦走の夢は潰れても 山田恵美子
 空飛ぶ遣唐使ハチクマ 上河 恵賜
 ～きゆう俳句との一年
 俳句とは? 筑田 俊夫
 評伝「石城会」追想シンフォニ
 ー(序章・明治・大正・昭和・
 平成 無終章) 才津 玉樹
 伝説 亡き人に逢えるみみらく私
 考(3)ー伝説伝承の系譜 櫻井 隆
 論説 五島椿の将来ー日本一の椿
 の島をめざして 比留木忠治
 史話 五島の「うどん」と「焼酎」
 のルーツー藩政文書に探る 内海 紀雄
 創作 八幡船(2) 竹山 和昭
 記録 活動の記録(2012.3～8) 片山 圭弘
 そのほか・トピックス
 潮の目 ある日ある時スクラッ

ブに拾う

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇191 2012.9 B5 20p
木造如意輪観音坐像 志佐 惲彦
宮島家と捕鯨業 宮島傳二郎
柏崎出土「触角式銅剣」 堀川 義英
唐津、土地の記憶 田島 龍太
赤穂義士と天草の乱(2) 寺沢 光世
武寧王が継体天皇に贈った隅田八幡人物画像鏡とは(3) 熊本 典宏
呼子大友弥生人遺跡は消えた一土井ヶ浜弥生人遺跡は国史跡となり、人類博物館や埋葬再現のドームも 中里 紀元
小笠原記念館展示の家茂・慶喜の親筆 山田 洋

◆季刊 沖縄 沖縄協会
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
エー・ゼットキュウブビル5階
TEL03-5803-2341 1996年創刊
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇43 (17-3・4) 2012.10 A4 48p 300円
第161回沖縄問題研究会 沖縄21
世紀ビジョン基本計画について 謝花喜一郎
亜熱帯沖縄の木や森や里山(4)
亜熱帯の森のかたち(上) 新里 孝和多良間島一大地(ウフジ)と離(ハナレ)の琉球史(3) 高良 倉吉
琉球漆器の歴史・技術技法について 糸数 政次
Topics／沖縄協会だより 東京事務所、沖縄平和記念堂、寄金芳名欄、参観校、寄贈図書／沖縄

覚書

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963

◇193 2012.11 B5 8p
11月定例会レジュメ
宮古上布の現状 砂川 猛
12月定例会レジュメ 「宮古島の歌」の成立をめぐって 上原 孝三
ネフスキー生誕120年記念シンポジウム盛会裏に終る 下地 和宏
「ネフスキーの宮古」を歩く 砂川 史香
10月定例会のまとめ 尻並第二遺跡・金志川豊見親屋敷跡の発掘調査の概要 久貝 弥嗣
第7回なりやまあやぐまつり 金志川城跡での元島学習会をとおして 久貝 弥嗣
「世界の織機と織物展」開催中 仲間 伸恵
宮古島市史 第一巻通史編『みやこの歴史』刊行される 下地 利幸
『宮古島市史』編さん事業第二次構想について 市史編さん事務局
復帰四十年シンポジウム
五人のパネラー報告・討論 下地 和宏
「祖国復帰運動」を先導
宮國泰良先生没25年 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成24年度研究成果報告書
東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊 (〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168) 2013年3月 A4 93頁

第1部 研究の目的と概要(田口洋美)
第2部 平成24年度研究成果報告 環境史研究および地域比較研究の進捗状況 民俗・人類班(蛭原一平)、歴史班(佐藤健治・竹原万雄・中村只吾)、考古班(長井謙治)／地域資源活用研究の進捗状況(蛭原一平・中村只吾)
第3部 個別研究成果報告 研究ノート 神仏のいる「林」(菊池勇夫)／講演抄録 海から見た東北(田口洋美・森本孝・川島秀一)／講演抄録 空から見た東北(田口洋美)／補足資料 三陸沿岸集落を中心とした景観写真／総括(田口洋美)
附編 本事業に関する研究実績一覧／本事業に関する新聞記事等掲載一覧

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録44
県内諸家寄託文書38
福島県歴史資料館編・刊 (〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2013年3月 B5 50頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した資料目録の44冊目として、5件の寄託・寄贈文書の目録を収録する。大沼忠四郎家文書(8点、伊達郡国見町)／大沼ハルヨ家文書(484点、福島市)／高野伊勢男家文書(1点、伊達郡国見町)／小島徳二氏収集文書(16点、二本松市)／官報 昭和期 その3(58点、福島県庁文書)

◆茨城県立歴史館史料叢書16
否塞録・悔慚録・明志録
茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館 (〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2013年3月 A5 327+14頁
幕末水戸藩の藩内党争下、その渦中にあった水戸藩士の手記を収録する。解題(櫻井明)／否塞録(茨城県立図書館蔵、文久3年(1863)9月～明治元年(1868)正月、著者不明)／悔慚録(茨城県立歴史館蔵、内藤耻叟、弘化年間

～明治元年)／明志録(石川治家寄託文書、石川義路(東之介)、元治元年(1864)6月23日～9月14日)／否塞録掲載水藩士名(殉難者)

◆近世黒羽の林政家 興野隆雄と興野家文書の世界
大田原市黒羽芭蕉の館・刊 (〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151)
2013年2月 A4 78頁
黒羽芭蕉の館の平成24年度企画展(2月16日～3月17日)の展示図録。代々黒羽藩の重臣を務めた東興野家のうち、林政家として活躍して『太山の左知』を著述した興野隆雄(1790～1862)の没後150年にちなんで、平成16年度に興野喜宣氏(壬生町)から寄託された「興野家文書」(約140点)を中心に、興野隆雄の肖像画や彼の著作・関係記録、「興野家文書」の概要を紹介する資料113点を展示する。ごあいさつ／黒羽藩の重臣興野氏の系譜／興野隆雄と植林事業／興野隆雄の子孫と『太山の左知』の顕彰／資料解説／近世黒羽藩士興野氏とその子孫について(新井敦史)／謝辞

◆草津温泉繁昌誌—江戸期草津温泉資料集成 太平文庫73
太平主人編著 太平書屋 (〒113-0021 東京都文京区本駒込1-15-12-201 TEL03-3943-4991) B5 330頁 7000円
群馬県の草津温泉にかかわる代表的な紀行文を集成。口絵五種(上州草津温泉図并八景・八景功能草津温泉鑑・続膝栗毛十編口絵・金草鞋十三編・草津温泉往来口絵)／草津薬泉之記(崔雀子 宝暦5年)／草津温泉遊記(平沢旭山 安永9年)／上州草津道法・抄(松代藩士某 天明4年)／上信日記・抄(清水浜臣 文政2年)／続膝栗毛・十編(十返舎一九 文政3年)／草津温泉往来(十返舎一九 文政6年)／踰碓氷嶺過浅間山記 登白根山記(安積良斎 天保9年)／草津繁昌記(堀秀成 慶応元年)／上毛温泉遊記・抄(大槻文彦 明治12

年)／草津くさゞ(草津よいとこ・草津温泉由来記・歴代の入湯者・草津の村法・入口番所設置のいきさつ・草津を詠んだ川柳・雲嶺庵鷺白の俳書『古今綾囊』／解説／付図(上州草津温泉之図1、2)

◆**風よ静かに彼の岸へ**―追悼・川名登先生
川名登先生追悼集刊行会刊 2012年6月 B6
190頁 日本経済評論社制作
利根川を中心とする河川交通史研究で活躍し、2011年6月に逝去された川名登 千葉経済大学名誉教授の追悼文集。

川名登先生略年譜／弔辞(田邊悟)
〔川名登先生へ〕 いまも笑顔で(青木敏雄)／
神奈川県史の史料収集のころ(青山孝慈)／
出会いの妙―川名先生とのご縁(阿由葉司)／
川名先生、想い出の記(荒井郁子)／川名登先生
との出会い(飯塚隆彦)／地方史への視野(飯
野俊)／川名先生の思い出(池田宏樹)／川名
登先生の楽恩(和泉清司)／川名さん、早過ぎ
ますよ！(岩城登美子)／川名登先生のご逝去
を悼む(植田敏雄)／川名登先生と私(上村雅
洋)／晩学の喜びを与えて頂きました(鶴澤勝
雄)／川名先生を偲んで(大島文二郎)／八十
二年の生を活かされて(大墳武平)／川名登先
生を偲ぶ(大矢敏夫)／川名登先輩ありがとう
ございました(小澤拓美)／川名先生の思い出
(加来きみ子)／See You Again(川崎喜久男)
／川名登先生と「鬼怒川・小貝川流域を語る
会」(川俣正英)／川名先生の思い出いろいろ
(木ノ内秀男)／楽しかった房総旅行(佐藤英
次)／あくまでも優しい先生(佐藤金兵衛)／
川名登氏のこと(佐藤博信)／励まして
下さった先生(佐藤裕貴子)／川名登先生のこ
と(里見武利)／追悼 川名先生(志道サカエ)
／千葉県の師匠(嶋津敬)／川名登先生と地域
経済博物館(菅根幸裕)／銚子、松岸町、宮内
家の古文書調査回想(高森良昌)／房総里見氏
研究の師、川名登先生(滝川恒昭)／川名先生

とのお付き合い(田中康雄)／幻影の継続・共
同研究(田邊悟)／出しそびれた礼状にかえて
(塚本学)／川名登先生の思い出(遠山成一)／
川名さんのこと(利岡俊昭)／川名登先生の思
い出(中里裕司)／川名先生の教え(中林正憲)
／川名先生と歴史調査合宿(中村勝)／川名先
生を偲んで(並木弘次)／川名登先生との思い
出(橋村修)／川名登氏のおもいで(長谷川伸
三)／歴史のいろはを教えて頂いて(畑中雅
子)／川名先生の想い出(原淳二)／川名さん
の想い出(藤村潤一郎)／川名先生への感謝と
思い出(古田真隆)／川名登先生との思い出
(牧野光男)／船の痕跡をたずねる旅(松井哲
洋)／充滿する稲の香(松崎喬)／今度は河岸
を変えて―(松永辰郎)／川名登さんの思い出
(村上直)／偉れた人柄が偲ばれる(森山泰民)
／恩師 川名登先生を偲んで(山内恵子、旧
姓本吉)／川名登君の思い出(吉田文夫)／川
名先生の思い出(吉見嘉男)／川名さんの学風
に学ぶこと(横山昭男)

〔ご家族から〕「清明上河図」への想い(川名
知子)／父との出会い(川名由香)／感謝を込
めて(川名淳)／父の研究と歴史学(川名慎)
川名登先生業績一覧／協力者一覧／編集を終
えて(阿部裕樹)

◆江戸大名家事典

川口素生著 新紀元社 (〒160-0022 東京都
新宿区1-9-2-3F TEL03-5312-4481) 2013年3月
A5 311頁 1900円
慶応3年(1867)の大政奉還の時点で存在した
大名・御三卿と、それ以後、明治4年(1871)
の廃藩置県までのあいだに立藩された大名あ
わせて287家を、親藩大名、譜代大名、外様
大名とにわけ、原則として50音順に排列・概
説した幕末大名家事典。また、江戸期に取り
潰された全大名家も付録として紹介する。
親藩大名の各家／譜代大名の各家／外様大名
の各家／コラム 10万石格の大名と無高大

名、江戸幕府の高家と交代寄合、転封を重ね
た江戸時代の大名家たち、外様大名の一門と親
藩大名の付家老、天下の三陪臣と三家老、琉
球国王・尚家と琉球処分／付録と索引 廃絶
大名一覧表、江戸大名家の石高順一覧、大名
になった年順索引、廃絶になった年順索引、
江戸大名家の50音順索引

◆刃物の見方

岩崎航介著 慶友社 (〒101-0051 東京都千
代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361)
2012年5月 180頁 3000円
三条金物青年会により昭和44年刊行された幻
の名著の復刻。刃物製作は科学に裏打ちされ
るべきとする著者により、玉鋼をはじめ刃物
の材料や刃物と研ぎ、砥石とのかかわりな
ど、実際の技術と金属工学の理論とをむすび
つけた幅広い内容を詳細に説く。解説 岩崎
航介と『刃物の見方』(朝岡康二)／刃物の見
方―岩崎航介遺稿集(刃物の見分け方、日本
刀と私、刃物一代、刀剣、宮本武蔵と厨子の
耕介、玉鋼、玉鋼の利用にとりくんで、玉鋼
の焼入れ、老人体当り航空隊、刃物の材料に
関する知識、剃刀返品の研究、名倉砥の現地
調査、本山砥の現地調査)

◆丹後国田辺城下竹屋町文書目録

(京都府舞鶴市字竹屋)
菅原憲二編 千葉大学文学部史学科菅原研究
室 (〒263-8521 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL043-290-3575) 2011年3月 A4 373頁
江戸時代のほとんどを譜代大名牧野氏の城下
町田辺の政治的・経済的中心として繁栄した
竹屋町の集会所の蔵に保管されていた竹屋町
文書約4000点の文書目録。2005年に刊行した
隣接する職人町である平野町の文書目録に続
く田辺城下の町方文書目録2冊目となる。は
じめに／ご挨拶(田中正夫・仲川善通)／刊行
にあたって(菅原憲二)／解説(菅原憲二)／竹
屋町文書(字竹屋区有文書)目録／竹屋町文書

史料集(31点)

◆かみのみあと一大和の聖地

奈良県神社庁神話・古蹟顕彰委員会編 奈良
県神社庁 (TEL0744-22-4731) 2012年2月 A5
283頁 非売品
古事記完成1300年と県神社庁舎の新築を記念
して奈良県内で語り継がれてきた神話と伝承
をまとめる。県内すべての市町村について、
市町村史や神社の由緒書などから約400の伝
承と伝承地を取録。挨拶(河崎宏)／奈良県神
社庁 大和神話・古蹟顕彰委員会 委員名簿
／大和神話・古蹟顕彰委員会活動記録／奈良
市／大和高田市／大和郡山市／天理市／橿原
市／桜井市／五條市／生駒市／香芝市／葛城
市／宇陀市／山添村(山辺郡)／平群町、三郷
町、斑鳩町、安堵町(生駒郡)／川西町、三宅
町、田原本町(磯城郡)／曾爾村、御杖村(宇
陀郡)／高取町、明日香村(高市郡)／上牧町、
王寺町、広陵町、河合町(北葛城郡)／吉野
町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫
川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上
村、東吉野村(吉野郡)／神武天皇の足跡
『神武天皇聖蹟調査報告』(昭和17年、文部省)
より／『大和名所図会』(寛政3年(1791)秋里籬
島著)より抄出／附録 大和宇陀郡 神武天
皇聖蹟御圖繪、皇祖聖蹟 菟田高城誌、聖蹟
鳥見靈時

◆廿周年記念誌

福岡幸司・大谷和弘・正田公佑・坂井吉徳・
田邊達雄・瀬畑雅恵・金森迪子・鈴木健次編
みはら歴史と観光の会 (〒723-0062 広島県
三原市本町1-9-27 福岡幸司方 TEL0848-62-
2935) 2012年5月 B5 324頁 会員配布
広島県三原市における歴史探訪を中心に、月
刊誌『わが町三原』の刊行など地道な活動を
続ける「みはら歴史と観光の会」(レキカン)
が2011年3月に迎えた創立20周年記念誌。発
刊の辞(上田嘉信)／祝辞と思い出 三原市長

五藤康之、前教育長 檜山哲雄、三原観光協会会長 上田隆治、沼田文化研究会会長 半田靖夫、顧問 大藤直也、顧問 宮原幸司、創始者故勝原博氏の長女 勝原純子、レキカン創始者の一人 久井茂／三代の事務局長より 初代 福岡幸司、二代 伊野木勲、三代 鈴木健次／三原一周膝栗毛 コーズ図、膝栗毛思い出して(福岡幸司)、ルート設定苦心談(大谷和弘)、膝栗毛覚え書(正田公佑)／研修旅行の記録(金森迪子)／レキカン主催の講演会 全体まとめ(大谷和弘)、20周年記念講演会 森本繁先生(鈴木健次)／三原市郷土文化研究団体連合会(略号市郷連) 結成の経緯と現状の活動内容(鈴木健次)／20年間の活動記録／「わが町三原」の記録 輯番号一覧、三原城主三家(小早川・福島・浅野)の関連記事(瀬畑雅恵)、表紙集(鈴木健次)、目次集(鈴木健次)、索引 第一部 1～100輯・第二部 101～200輯(田邊達雄)

◆阿蘇の神輿歌

松永建著 熊日情報文化センター (〒860-

0823 熊本市中央区世安町172 Tel096-361-3274) 2012年4月 A5 293頁 1800円

阿蘇山の北川の阿蘇谷と呼ばれる現在の阿蘇市や阿蘇山西側の南郷谷を挟んだ南阿蘇村・高森町の十六神社に伝わる神幸行列(御幸)にともなう神輿歌を、各神社の概要とともにまとめる。グラビア／神輿歌概要(阿蘇谷の神輿歌、阿蘇神社「御田植」研究資料について、阿蘇神社「御田植」の伝播、表1「各神社の神輿・神幸行列日程等」の説明、表2「阿蘇神社系神輿歌照合表」の説明、および神輿歌の資料作成と留意点、楽譜と音の再現について、響きの綺麗な阿蘇の神輿歌の原因、阿蘇の神々の系譜と社家、阿蘇の神輿歌に関する主要参考文献、凡例)／各地の神社の神輿歌(阿蘇神社、国造神社、馬場八幡宮、今町神社、西湯浦八幡宮、乙姫神社、西宮神社、長野阿蘇神社、卯添神社、久木野神社、群塚神社、吉見神社、八坂神社、高森阿蘇神社、上色見神社、色見神社)／あとがき

◆後記

朝鮮李朝王家第26代高宗の末娘 徳恵翁主(トッケオハングジュ)をご存知だろうか。日本併合下の1925年、弱冠13歳で独り学習院に留学させられ、旧対馬藩主家の当主(伯爵)との政略結婚を余儀なくされる。幸い夫は優しく娘をもうけるが、生来の精神疾患を発症して長く入院。やがて離婚、一人娘の自殺と不幸が続く、祖国に戻ることは出来たのは1962年、37年後のことであった。戦後、韓国国内で帰還を求める動きはあったが、李承晩政府は王政復古を恐れ、朴正熙大統領は「徳恵翁主とは一体誰?」との反応であった。いわば、占領国からも母国からも捨てられたと云えるのではなかろうか。権丕暎著、齋藤勇夫訳の歴史小説『徳恵翁主―朝鮮王朝最後の皇女』(かんよう出版、2013)によって王女の名を初めて知った。韓国に関係文献は殆どなく、著者は韓国の多くの図書館に寄贈されていた本馬恭子著『徳恵姫―李氏朝鮮最後の王女』(葦書房、1998)を、ある地方大学図書館で手にし、韓国人として恥ずかしい思いがこみ上げ、王女の恨み深い人生を小説に著わさずにいられなかったという。原著は韓国で70万部のベストセラーになった。この小説については、「二つの国のわだかまりを埋めよう」と腐心した本馬の労作は、韓国作家の手で、より悲劇的に脚色され、心の隔たりはさらに広げられた感がある。」(戸田郁子、The Asahi Shimbun Globe、2013.4.28)との指摘もあるが、高々100年に満たない現代史の出来事で、知らずにいることの余りの多さを、こちらこそ恥ずかしく思った。(飯澤)

地方史情報 114 2013年(平成23年)4月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 Tel03-3326-3757